

生物理工学部 令和2年度前期授業 シラバス変更点一覧（新旧対照表）

科目区分	開講年次	科目名	担当教員	シラバス変更点（変更部分のみ記載）		メールアドレス
				旧シラバス内容	新シラバス内容	
共通教養科目	1年	現代社会と法	新井健	【成績評価方法および基準】 定期試験 80% 小テスト・レポート 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 レポート（2回） 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート提出後、授業にて解説します。	ke-arai@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	現代社会と倫理	平木光二	【成績評価方法および基準】 定期試験80% 授業中課題20%	【成績評価方法および基準】 レポート提出	ko-hiraki@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	国際化と異文化コミュニケーション	服部圭子	■授業概要・方法等 国際社会において異なる言語や文化を持つ人々との接触場面で、自信を持って発信できるコミュニケーション能力の育成、他者と対等に関わる態度の育成やアイデンティティの確立など、異文化リテラシー能力の育成を目標とする。 ・授業はペアで話し、色々なグループを形成して意見交換したりしますので、積極的に授業に参加してください。 ・毎回、考えたことや学んだことなどを振り返り、感想をまとめて提出してもらいます。 ■学習・教育目標及び到達目標 異文化コミュニケーションの理論を学習するとともに、多文化化する日本の現状や課題を知り、滞りする外国人との対等な関係性構築のための日本人の態度や、受け入れる側の制度などについても考えることができるようになる。さらに、言語意識の育成をめざし、複言語・複文化意識の大切さにも触れる。議論やロールプレイ、体験談の傾聴などを通して異文化コミュニケーションスキルや態度の育成を目指す。 この科目の修得は、学部のディプロマポリシー5、近畿大学教養科目の目的2、3の達成に關与しています。 ■成績評価方法および基準 課題レポート 60% 授業中の発表 20% 授業ごとのまとめ・提出物 20% ■試験・課題に対するフィードバック方法 課題提出後、その期の授業時間内に、その内容の要点と解説、主要概念の提示を行います。	■授業概要・方法等 国際社会において異なる言語や文化を持つ人々との接触場面で、自信を持って発信できるコミュニケーション能力の育成、他者と対等に関わる態度の育成やアイデンティティの確立など、異文化リテラシー能力の育成を目標とする。 ・授業は可能な限りペアで話し、意見交換したりしますので、積極的に授業に参加してください。 ・毎回、考えたことや学んだことなどを振り返り、感想をまとめて提出してもらいます。 ■学習・教育目標及び到達目標 異文化コミュニケーションの理論を学習するとともに、多文化化する日本の現状や課題を知り、滞りする外国人との対等な関係性構築のための日本人の態度や、受け入れる側の制度などについても考えることができるようになる。さらに、言語意識の育成をめざし、複言語・複文化意識の大切さにも触れる。そして、異文化コミュニケーションスキルや態度の育成を目指す。 この科目の修得は、学部のディプロマポリシー5、近畿大学教養科目の目的2、3の達成に關与しています。 ■成績評価方法および基準 課題レポート 50% 授業中の発表・態度・授業ごとのまとめや提出物 50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 課題提出後、その期の授業時間内に、要点の解説、主要概念の提示などを行います。	khattori@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	国際社会と日本	新田幸夫	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 授業中の質疑応答のレポート 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 ・数回（3、4回）の授業後に、その内容をまとめたペーパーを配布し授業中に復習を行う。 ・試験の要点（これまでの授業の総復習）は試験前に行い、試験勉強の徹底を図りたい。	【成績評価方法および基準】 授業中の質疑応答のレポート 60% 課題レポート 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 数回（3、4回）の授業後に、その内容をまとめたペーパーを提示し授業中に復習を行います。 課題レポートのフィードバックは google classroom に提示します。	nittasachio@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	自己発見の心理学	大日方薫	【成績評価方法及び基準】 期末レポート 60% 講義内コメントシート 40%	【成績評価方法及び基準】 期末レポート100%	obinata@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	食生活と健康	武田英里	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 授業中課題 20% レポート 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載予定。授業の始めに前回行った小テストの解答と内容を説明する。	【成績評価方法および基準】 授業中課題（Googleフォーム利用） 40% 毎回の授業後レポート（Googleフォーム利用） 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート課題等は翌日の以降にUNIVERSAL PASSPORTに掲載予定。	takeda@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	新しい政治学	新田和宏	【成績評価方法および基準】 定期試験100%	【成績評価方法および基準】 試験レポート100%	nitta@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	生涯スポーツ1	橋本剛幸	■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 第1回目の授業ではオリエンテーションを行う。 2回目以降は各種目基本的な実技を行い、技能に応じて、ゲームへ移行する。 予習内容：各スポーツのルールの確認。技能、作戦、ゲーム運営、審判法の確認。日常生活におけるスポーツ実施に向けた意識の再確認。(30分) 復習内容：各スポーツのゲームにおける技能面、作戦面での失敗の反省、改善に向けて取り組み。(30分) (中略) ■成績評価方法および基準 実技評価 60% 授業態度・意欲(授業内の質問に対する応答、ディスカッション内容) 40%	■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 講義はグラウンドや体育館での実技ではなく、授業時間にZOOMによるオンラインでの授業を実施する。(各自の部屋での実技活動を含む) 1 5月8日 ガイダンス 2 15日 『生涯スポーツとは』 3 22日 『社会の中のスポーツ』 4 29日 バスケットボール1 シュートの技術 5 6月5日 バスケットボール2 時間にかかわるルール 6 12日 サッカー・フットサル1 ボールタッチとトラップ 7 19日 サッカー・フットサル2 ルールと戦術 8 26日 ソフトボール1 ルールとゲームの進め方 9 7月3日 ソフトボール2 技術編 10 10日 バレーボール1 技術編 11 17日 バレーボール2 戦術編 12 31日 卓球、バドミントン 基本編 13 8月7日 フライングディスク 様々なゲーム 【10日(月)～15日(土) 夏休み】 14 21日 生涯スポーツについてのディスカッション 15 28日 まとめ ■成績評価方法および基準 実技評価（運動技能の習得度） 20% スポーツや健康・体力に関する科学的理解度 40% 自律的実践度 40% すべての項目において、課題・レポートを評価対象とします。	yoshiyuki8@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	生涯スポーツ1	福永哲志	【成績評価方法および基準】 実技評価 60% 授業記録 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 毎授業ごとに、各個人の運動技能、積極性、ゲーム運営協力度などを評価します。 授業終了時にゲーム内容の後評、ゲーム進行についての後評などを全体として行います。 個人に対して、授業内で、ゲーム中でのプレイや積極性、運営へ協力度についてコメントを適宜行います。	【成績評価方法および基準】 授業への積極的な参加姿勢 60% 記述点 30% 運動点 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 ①毎回の授業終了後、UNIVERSAL PASSPORTにその日の出欠を登録する。 ②各授業における実習活動記録表を作成し、評価する。	tommy926@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	日本近現代史	長沢一恵	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 授業中に行う小レポート 40%	【成績評価方法および基準】 授業中に行う小レポート・小課題および小テスト 70% 課題レポート 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題およびレポートを行った後に解説する。	nagasawa@waka.kindai.ac.jp
共通教養科目	1年	暮らしのなかの憲法	新田和宏	【成績評価方法および基準】 定期試験100%	【成績評価方法および基準】 試験レポート100%	nitta@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	科学倫理	久保田均	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 授業中の演習、および、レポート作成、発表 50%	【成績評価方法および基準】 授業、および、レポート作成、発表 100%	kubota@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	2年	基礎食品化学	尼子克己	■成績評価方法および基準 定期試験の成績 80% 講義に対する積極性・理解度（講義中、終了時等の簡易な質問等で評価） 20% ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	■成績評価方法および基準 毎回の授業前テスト（Googleフォーム利用） 50% 毎回の授業後テスト（Googleフォーム利用） 50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 小テスト後、解説します。	amako1@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	幾何学IA	堤裕之	■成績評価方法および基準 期末試験 70% 中間まとめレポート 10% 期末まとめレポート 10% 授業内課題 10% ■試験・課題に対するフィードバック方法 中間まとめレポートと期末まとめレポートは基本的に指定教科書と配布プリントの問題の中から出題されます。特に注意が必要な問題については授業内で解説します。試験問題についても同様です。	■成績評価方法および基準 期末試験 100% ■試験・課題に対するフィードバック方法 最終回の授業にて講評を行います。	tutumi@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	情報処理基礎 I	根本充貴	【授業計画の内容】 ・Officeソフトを用いた実験等レポートの作成方法 ・Word（複数箇所） ・PowerPoint（複数箇所）	【授業計画の内容】 ・OfficeあるいはGoogle文書編集アプリを用いた実験等レポートの作成方法 ・WordあるいはGoogleドキュメント（複数箇所） ・PowerPointあるいはGoogleプレゼンテーション（複数箇所）	nemoto@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	情報処理基礎 I	児玉高志	【成績評価方法および基準】 授業中の課題 70% 定期試験 30% 【研究室・メールアドレス】 講師控室(2号館2階) infokodama@waka.kindai.ac.jp 【オフィスアワー】 当該科目開講時間の前後休憩時間とします。 【定期試験】 コンピューターサイエンスの基礎知識、インターネット利用のリテラシー、ワープロソフト、表計算ソフトの操作方法、基礎的な統計手法、人工知能に関する基礎技術などについて、選択式を中心とした試験を行います。	【成績評価方法および基準】 授業中に提示する課題 100% 【研究室・メールアドレス】 infokodama@waka.kindai.ac.jp 【オフィスアワー】 質問等は、メールを介して行います。 【定期試験】 行いません。	infokodama@waka.kindai.ac.jp

			<p>■授業概要・方法等 生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るために必要なことを科学技術の観点から考察する。</p> <p>■アクティブ・ラーニングの形態 -</p> <p>■ICTを活用したアクティブ・ラーニング -</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標及び到達目標 受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に關与する。</p> <p>■成績評価方法および基準 星・坂本 時間内に実施する記述式小テストで評価(実際の配分率、33.3%) 35% 宮本 小テスト(実際の配分率、6.7%) 5% 三谷 課題レポート(実際の配分率、13.3%) 15% 松本 ルーブリック(50%)と課題レポート(50%)で評価(実際の配分率、6.7%) 5% 中西 課題レポート(実際の配分率、6.7%) 5% 芦田・東 時間内に実施する記述式小テストで評価(実際の配分率、33.3%) 35% ■試験・課題に対するフィードバック方法 複数教員で開講する科目のため、小テスト、期間内テスト、レポート課題に関する解説・解答等は、講義ごとに担当の研究室で、訪問またはメールによる問い合わせによって対応します。</p> <p>■教科書 【留意事項】特に指定しない。</p> <p>■参考文献 【留意事項】特に指定しない。</p> <p>■関連科目 特になし。</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 大学実施規程に準拠して実施する。</p> <p>■研究室・メールアドレス 星研究室(西1号館4階459)・hoshi@waka.kindai.ac.jp 坂本研究室(西1号館4階452)・sakamoto@waka.kindai.ac.jp 松本研究室(西1号館6階658)・kazum@waka.kindai.ac.jp 三谷研究室(東1号館5階521)・mitani@waka.kindai.ac.jp 宮本(裕)研究室(西1号館4階457)・miyamoto@waka.kindai.ac.jp 中西研究室(西1号館6階652)・nakanishi@waka.kindai.ac.jp 芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp 東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT (https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/) のオフィスアワーを参照すること。代表教員(星)のオフィスアワーは月曜日1・2時限です。</p> <p>■授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間 第1回 食糧生産と環境(緑の革命とその崩壊)(星) 予習内容: 1960年代から1970年代にかけての世界の食糧増産に貢献した主要技術は何か調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 持続的農業の実践的技術にはどのようなものがあるのか事例を調べてまとめる。 復習時間: 60分 第2回 食糧生産と環境(炭素と水の環境アセスメント)(星) 予習内容: 食糧生産に關係する環境アセスメント技術にはどのようなものがあるか調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: LCA、CFP、VWの食糧生産に關連する実施事例を調べ、その課題と今後の発展方向をまとめる。 復習時間: 60分 第3回 植物に感染する微生物(坂本) 予習内容: 微生物によって引き起こされる植物の病害と、その病原について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 植物に感染する微生物について、それぞれの感染の仕組みをまとめておく。 復習時間: 60分 第4回 植物に感染する微生物の進化(坂本) 予習内容: 植物病原菌に対して抵抗性を示す植物について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 植物の抵抗性遺伝子と病原菌の非病原性遺伝子の進化についてまとめておく。 復習時間: 60分 第5回 第1回から第4回までの講義に関する小テスト(坂本) 予習内容: 小テストに向けて学習内容の整理をしておく。 予習時間: 120分 復習内容: テストでできなかったところを再考しておく。 復習時間: 30分 第6回 動物とヒトの環境に対する適応(宮本) 予習内容: 動物の多様性について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: ヒトを含めた動物の形態進化の意味を理解する。 復習時間: 60分 第7回 不妊治療の現在地(三谷) 予習内容: 不妊症の主な要因と日本における晩産化の背景について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 不妊症が増加した生物学的社会的背景を理解し、個人のライフプランにどう活かすべきか考える。 復習時間: 60分 第8回 野生動物の保護と環境の保全(三谷) ～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～ 予習内容: 野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取組むべき方策について考察する。 復習時間: 60分 第9回 環境(光)と遺伝子～時計遺伝子～(松本) 予習内容: 2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。 予習時間: 30分 復習内容: 多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム(概日リズム)が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。 復習時間: 60分 第10回 生物環境の変化と新興感染症(中西) 予習内容: 新興感染症について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 環境破壊・地球温暖化と新興感染症の拡大について考察する。 復習時間: 60分 第11回 生物多様性と種分化のしくみ(芦田) 予習内容: 生物の種とは何か、自分なりの定義を考えておく。 予習時間: 30分 復習内容: 種分化のモデルについてまとめる。 復習時間: 60分 第12回 絶滅の危機に瀕している野生生物(芦田) 予習内容: 野生生物が減少する要因を10個以上考える。 予習時間: 30分 復習内容: 野生生物の保全に關して重要なポイントをまとめる。 復習時間: 60分 第13回 メタゲノム解析「環境微生物とヒト常在菌」(東) 予習内容: メタゲノム解析について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: メタゲノム解析の応用についてまとめる。 復習時間: 60分 第14回 生物多様性と利権「カルタヘナ議定書と名古屋議定書」(東) 予習内容: カルタヘナ議定書と名古屋議定書について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 生物多様性と利権について自分の考えをまとめる。 復習時間: 60分 第15回 第11回から第14回までの講義に関する小テスト(芦田・東) 予習内容: 小テストに向けて学習内容の整理をしておく。 予習時間: 120分 復習内容: テストで解答できなかった問題と解説を参考にし、再考する。 復習時間: 30分</p> <p>■ホームページ ■実践的な教育内容 経営者、技術者、研究者、行政官等の実務経験がある教員が行う授業</p>	<p>■授業概要・方法等 生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るために必要なことを科学技術の観点から考察する。</p> <p>■アクティブ・ラーニングの形態 オンライン授業 ■ICTを活用したアクティブ・ラーニング UNIPA、google classroom、zoomをICTツールとして用いる</p> <p>■使用言語 日本語</p> <p>■学習・教育目標及び到達目標 受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に關与する。</p> <p>■成績評価方法および基準 星 課題レポート(実際の配分率、17.6%) 15% 坂本 課題レポート(実際の配分率、17.6%) 15% 宮本 小テスト(実際の配分率、6.7%) 10% 三谷 課題レポート(実際の配分率、13.3%) 10% 松本 ルーブリック(50%)と課題レポート(50%)で評価(実際の配分率、6.7%) 10% 中西 課題レポート(実際の配分率、6.7%) 10% 芦田 課題レポート(実際の配分率、17.6%) 15% 東 課題レポート(実際の配分率、17.6%) 15%</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法 複数教員で開講する科目のため、小テスト、レポート課題に関する解説・解答等は、google classroomで対応します。問合せは、電子メールで受け付けます。</p> <p>■教科書 【留意事項】特に指定しない。</p> <p>■参考文献 【留意事項】特に指定しない。</p> <p>■関連科目 特になし。</p> <p>■授業評価アンケート実施方法 大学実施規程に準拠して実施する。</p> <p>■研究室・メールアドレス 星研究室(西1号館4階459)・hoshi@waka.kindai.ac.jp 坂本研究室(西1号館4階452)・sakamoto@waka.kindai.ac.jp 松本研究室(西1号館6階658)・kazum@waka.kindai.ac.jp 三谷研究室(東1号館5階521)・mitani@waka.kindai.ac.jp 宮本(裕)研究室(西1号館4階457)・miyamoto@waka.kindai.ac.jp 中西研究室(西1号館6階652)・nakanishi@waka.kindai.ac.jp 芦田研究室(東1号館5階515)・ashida@waka.kindai.ac.jp 東研究室(東1号館4階409)・azuma@waka.kindai.ac.jp</p> <p>■オフィスアワー 複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT (https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/) のオフィスアワーを参照すること。代表教員(星)のオフィスアワーは月曜日1・2時限です。</p> <p>■授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間 第1回 食糧生産と環境(緑の革命とその崩壊)(星) 予習内容: 1960年代から1970年代にかけての世界の食糧増産に貢献した主要技術は何か調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 持続的農業の実践的技術にはどのようなものがあるのか事例を調べてまとめる。 復習時間: 60分 第2回 食糧生産と環境(炭素と水の環境アセスメント)(星) 予習内容: 食糧生産に關係する環境アセスメント技術にはどのようなものがあるか調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: LCA、CFP、VWの食糧生産に關連する実施事例を調べ、その課題と今後の発展方向をまとめる。 復習時間: 60分 第3回 植物に感染する微生物(坂本) 予習内容: 微生物によって引き起こされる植物の病害と、その病原について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 植物に感染する微生物について、それぞれの感染の仕組みをまとめておく。 復習時間: 60分 第4回 植物に感染する微生物の進化(坂本) 予習内容: 植物病原菌に対して抵抗性を示す植物について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 植物の抵抗性遺伝子と病原菌の非病原性遺伝子の進化についてまとめておく。 復習時間: 60分 第5回 動物とヒトの環境に対する適応(宮本) 予習内容: 動物の多様性について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: ヒトを含めた動物の形態進化の意味を理解する。 復習時間: 60分 第6回 不妊治療の現在地(三谷) 予習内容: 不妊症の主な要因と日本における晩産化の背景について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 不妊症が増加した生物学的社会的背景を理解し、個人のライフプランにどう活かすべきか考える。 復習時間: 60分 第7回 野生動物の保護と環境の保全(三谷) ～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～ 予習内容: 野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取組むべき方策について考察する。 復習時間: 60分 第8回 環境(光)と遺伝子～時計遺伝子～(松本) 予習内容: 2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。 予習時間: 30分 復習内容: 多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム(概日リズム)が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。 復習時間: 60分 第9回 生物環境の変化と新興感染症(中西) 予習内容: 新興感染症について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 環境破壊・地球温暖化と新興感染症の拡大について考察する。 復習時間: 60分 第10回 生物多様性と種分化のしくみ(芦田) 予習内容: 生物の種とは何か、自分なりの定義を考えておく。 予習時間: 30分 復習内容: 種分化のモデルについてまとめる。 復習時間: 60分 第11回 絶滅の危機に瀕している野生生物(芦田) 予習内容: 野生生物が減少する要因を10個以上考える。 予習時間: 30分 復習内容: 野生生物の保全に關して重要なポイントをまとめる。 復習時間: 60分 第12回 メタゲノム解析「環境微生物とヒト常在菌」(東) 予習内容: メタゲノム解析について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: メタゲノム解析の応用についてまとめる。 復習時間: 60分 第13回 生物多様性と利権「カルタヘナ議定書と名古屋議定書」(東) 予習内容: カルタヘナ議定書と名古屋議定書について調べておく。 予習時間: 30分 復習内容: 生物多様性と利権について自分の考えをまとめる。 復習時間: 60分 第14回 第1回～第4回の課題レポート出題と作成で充当する。(星・坂本) 第15回 第10回～第13回の課題レポート出題と作成で充当する。(芦田・東)</p> <p>■実践的な教育内容 経営者、技術者、研究者、行政官等の実務経験がある教員が行う授業</p>	hoshi@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	生物と地球環境(前期)	<p>星岳彦, 坂本勝, 宮本和也, 三谷匡, 宮本裕史, 中西章, 芦田久, 東慶直</p>		
学部基礎科目	1年	代数学概論 I	山崎宏	<p>【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 問題演習 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の解答例を配布または解説します。</p>	h-yamasaki@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	地学概論 I	佐藤昇	<p>【成績評価方法および基準】 定期試験 60% レポート(個々の授業のまとめ等) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点をUNIVERSAL PASSPORTで解説します。</p>	n-satoh@waka.kindai.ac.jp

				<p>授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間</p> <p>第1回 地球の大きさ、形</p> <p>地球の大きさ、形がいかにして理解されてきたかを概観した後、下記の実習をする。</p> <p>①あるデータをもとに、地球の大きさを計算する。</p> <p>②地球は回転楕円体であるが、その本質を知るために仮想惑星の作図し、地球と比較する。</p> <p>予習内容：地球の形と大きさについて調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第2回 天体の位置のあらわし方(特に赤道座標)、天体の見え方</p> <p>赤道座標などについて解説をした後、下記の実習をする。</p> <p>①星図に、太陽の年周運動を記入する。</p> <p>②星図を見て、天体の南中高度、南中時刻などを計算する。</p> <p>③星図を見て、周極星、出没星、全没星を区分する。等</p> <p>予習内容：赤道座標・星図について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：天体の南中高度、南中時刻の求め方をまとめる。(30分)</p> <p>第3回 惑星の運動(ケプラーの第一、第二、第三法則)</p> <p>真円の宇宙観を解き放ったケプラーの功績を概観した後、次の実習をする。</p> <p>①火星の位置変化のデータをもとに火星の軌道の作図をし、ケプラーの第一、第二、第三法則が成立している事を確認する。</p> <p>予習内容：ケプラーの法則について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第4回 天体望遠鏡の使い方(太陽、月、惑星の観測) ※天気の都合で日程が前後する</p> <p>天体望遠鏡、赤道儀の解説をした後、次の実習をする。</p> <p>①天体望遠鏡の組み立て、収納。</p> <p>②極軸の合わせ方。</p> <p>③ファインダーの合わせ方。</p> <p>④太陽、月、惑星などの観察。</p> <p>予習内容：天体望遠鏡の仕組みについて調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：天体望遠鏡、赤道儀の扱い方の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第5回 天文ソフトによる天文現象のシミュレーション</p> <p>ある天文ソフトを概観した後、次の実習をする。</p> <p>①世界の各地での天体の見え方のシミュレーション。</p> <p>②日食、月食、惑星食、星食、流星などのシミュレーション。</p> <p>③惑星の公転、自転に関するシミュレーション。等</p> <p>予習内容：太陽や惑星の日周運動・年周運動について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験で用いたソフトウェアを使用して演習を行う。(60分)</p> <p>第6回 気象観測</p> <p>気象要素とその観測方法を概観した後、次の実験・実習を行う。</p> <p>①気象観測値の時間変化の特徴から天気を推定する。</p> <p>②雲の分類。</p> <p>③大気圧と水圧の関係を考える。</p> <p>予習内容：気象要素の観測方法について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：雲の分類法をまとめ、雲写真を撮影する。(90分)</p> <p>第7回 雲や雨の形成</p> <p>断熱変化および雲・雨の形成について概観した後、次の実験・観察を行う。</p> <p>①湿度と露点の測定。</p> <p>②減圧装置を使って、乾燥空気および湿潤空気についての気圧と温度との関係調べる。</p> <p>③シャボン玉の中にできる水滴(雲)を観察する。</p> <p>④フイズキーパーで雲をつくる。</p> <p>予習内容：雲のでき方について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験で実施した実験法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第8回 天気図の分類</p> <p>気象観測と天気図について概観した後、次の実習を行う。</p> <p>①風の吹き方等に関する流体実験を行う。</p> <p>②四季の気圧に関するインプレット図を作成し、日本の天気の特徴をとらえる。</p> <p>予習内容：天気図の書き方について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：作図法の留意点についてまとめるとともに、インプレット図を作成する。(90分)</p> <p>第9回 気象データの解析</p> <p>日本の天気の特徴を概観した後、気象データを解析する実習を行う。</p> <p>①地上気象観測値から大気現象に関する規則性を導き出す。</p> <p>予習内容：日本の四季の天気の特徴を調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験で実施した解析法の妥当性を検討する。(60分)</p> <p>第10回 地震波</p> <p>地震波の種類、震源距離の求め方、震源を特定する方法を概観した後、次の実習をする。</p> <p>①三か所の地震波のデータから震源を特定する。</p> <p>②一か所の地震波のデータから震源を特定する。</p> <p>予習内容：地震波の特徴とその観測法を調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：震源決定のための作図法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第11回 地震災害(断層、液状化など)</p> <p>地震災害に関して概観した後、次の実習をする。</p> <p>①液状化現象の簡易実験。</p> <p>②津波のモデル実験。</p> <p>③断層のモデル実験。</p> <p>予習内容：地震災害について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：各種実験法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第12回 地形とそれらをつくるもの</p> <p>地形の成り立ちを概観した後、次の実験・実習を行う。</p> <p>①空中写真の判別実習。</p> <p>②流水実験と堆積実験。</p> <p>③堆積岩の観察。</p> <p>予習内容：地層と堆積岩のでき方について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：堆積岩の特徴についてまとめる。(30分)</p> <p>第13回 鉱物の観察</p> <p>偏光板と鉱物の光学的性質及び主な鉱物の性質を概観した後、次の実習をする。</p> <p>①偏光板を使って、方解石の光学的性質を調べる。</p> <p>②火山灰中の鉱物を調べる。</p> <p>予習内容：鉱物の特徴について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：方解石の特徴についてまとめる。(30分)</p> <p>第14回 偏光顕微鏡による岩石薄片の観察</p> <p>岩石の成因を概観した後、次の観察をする。</p> <p>①岩石鉱物の肉眼観察。</p> <p>②岩石鉱物の偏光顕微鏡観察。</p> <p>③色指数による火成岩の分類。</p> <p>予習内容：偏光顕微鏡について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：火成岩の特徴についてまとめる。(30分)</p> <p>第15回 化石の観察</p> <p>地質時代と化石について概観した後、次の実習を行う。</p> <p>①微化石の顕微鏡観察を行い、その変化から堆積環境の変化をとらえる。</p> <p>予習内容：偏光顕微鏡について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：火成岩の特徴についてまとめる。(30分)</p>	<p>授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間</p> <p>第1回 地球の大きさ、形</p> <p>地球の大きさ、形がいかにして理解されてきたかを概観した後、下記の実習をする。</p> <p>①歩いて地球の大きさを測る。</p> <p>②あるデータをもとに、地球の大きさを計算する。</p> <p>予習内容：地球の形と大きさについて調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第2回 天体の位置のあらわし方(特に赤道座標)、天体の見え方</p> <p>赤道座標などについて解説をした後、下記の実習をする。</p> <p>①星図を見て、天体の南中高度、南中時刻などを計算する。</p> <p>②星図を見て、周極星、出没星、全没星を区分する。等</p> <p>予習内容：赤道座標・星図について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：天体の南中高度、南中時刻の求め方をまとめる。(30分)</p> <p>第3回 惑星の運動(ケプラーの第一、第二、第三法則)</p> <p>真円の宇宙観を解き放ったケプラーの功績を概観した後、次の実習をする。</p> <p>①火星の位置変化のデータをもとに火星の軌道の作図をし、ケプラーの第一、第二、第三法則が成立している事を確認する。</p> <p>予習内容：ケプラーの法則について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験での作図法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第4回 天体望遠鏡の使い方</p> <p>天体望遠鏡、赤道儀の原理と使い方について解説する。</p> <p>予習内容：天体望遠鏡の仕組みについて調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：天体望遠鏡、赤道儀の扱い方の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第5回 天文ソフトによる天文現象のシミュレーション</p> <p>ある天文ソフトを概観した後、次の実習をする。</p> <p>①世界の各地での天体の見え方のシミュレーション。</p> <p>②日食、月食、惑星食、星食、流星などのシミュレーション。</p> <p>③惑星の公転、自転に関するシミュレーション。等</p> <p>予習内容：太陽や惑星の日周運動・年周運動について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験で用いたソフトウェアを使用して演習を行う。(60分)</p> <p>第6回 気象観測</p> <p>気象要素とその観測方法を概観した後、次の実験・実習を行う。</p> <p>①気象観測値の時間変化の特徴から天気を推定する。</p> <p>②雲の分類。</p> <p>③大気圧と水圧の関係を考える。</p> <p>予習内容：気象要素の観測方法について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：雲の分類法をまとめ、雲写真を撮影する。(90分)</p> <p>第7回 雲や雨の形成</p> <p>断熱変化および雲・雨の形成について概観した後、次の実験・観察を行う。</p> <p>①湿度と露点の測定。</p> <p>②シャボン玉の中にできる水滴(雲)を観察する。</p> <p>③フイズキーパーで雲をつくる。</p> <p>予習内容：雲のでき方について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験で実施した実験法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第8回 天気図の分類</p> <p>気象観測と天気図について概観した後、次の実習を行う。</p> <p>①風の吹き方等に関する流体実験を行う。</p> <p>②四季の気圧に関するインプレット図を作成し、日本の天気の特徴をとらえる。</p> <p>予習内容：天気図の書き方について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：作図法の留意点についてまとめるとともに、インプレット図を作成する。(90分)</p> <p>第9回 気象データの解析</p> <p>日本の天気の特徴を概観した後、気象データを解析する実習を行う。</p> <p>①地上気象観測値から大気現象に関する規則性を導き出す。</p> <p>予習内容：日本の四季の天気の特徴を調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：実験で実施した解析法の妥当性を検討する。(60分)</p> <p>第10回 地震波</p> <p>地震波の種類、震源距離の求め方、震源を特定する方法を概観した後、次の実習をする。</p> <p>①三か所の地震波のデータから震源を特定する。</p> <p>②一か所の地震波のデータから震源を特定する。</p> <p>予習内容：地震波の特徴とその観測法を調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：震源決定のための作図法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第11回 地震災害(断層、液状化など)</p> <p>地震災害に関して概観した後、次の実習をする。</p> <p>①液状化現象の簡易実験。</p> <p>②断層のモデル実験。</p> <p>予習内容：地震災害について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：各種実験法の留意点についてまとめる。(30分)</p> <p>第12回 地形とそれらをつくるもの</p> <p>地形の成り立ちを概観した後、次の実験・実習を行う。</p> <p>①空中写真の判別実習。</p> <p>②流水実験と堆積実験。</p> <p>③堆積岩の観察。</p> <p>予習内容：地層と堆積岩のでき方について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：堆積岩の特徴についてまとめる。(30分)</p> <p>第13回 鉱物の観察</p> <p>偏光板と鉱物の光学的性質及び主な鉱物の性質を概観した後、次の実習をする。</p> <p>①偏光板を使って、方解石の光学的性質を調べる。</p> <p>②火山灰中の鉱物を調べる。</p> <p>予習内容：鉱物の特徴について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：方解石の特徴についてまとめる。(30分)</p> <p>第14回 偏光顕微鏡による岩石薄片の観察</p> <p>岩石の成因を概観した後、次の観察をする。</p> <p>①岩石鉱物の肉眼観察。</p> <p>②岩石鉱物の偏光顕微鏡観察。</p> <p>予習内容：偏光顕微鏡について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：火成岩の特徴についてまとめる。(30分)</p> <p>第15回 化石の観察</p> <p>地質時代と化石について概観した後、次の実習を行う。</p> <p>①微化石の顕微鏡観察を行い、その変化から堆積環境の変化をとらえる。</p> <p>予習内容：偏光顕微鏡について調べておく。(60分)</p> <p>復習内容：火成岩の特徴についてまとめる。(30分)</p>	n-satoh@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	地学実験	佐藤昇	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 65%</p> <p>小テストおよび課題 35%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>各授業における課題、確認問題。レポート等 100%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</p>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目(生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	基礎物理学Aクラス	西垣勉	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 65%</p> <p>小テストおよび課題 35%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>各授業における課題、確認問題。レポート等 100%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</p>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目(生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	基礎物理学B、Eクラス	西垣勉	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 65%</p> <p>小テストおよび課題 35%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>各授業における課題、確認問題。レポート等 100%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</p>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目(生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	基礎物理学Cクラス	西垣勉	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 65%</p> <p>小テストおよび課題 35%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>各授業における課題、確認問題。レポート等 100%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</p>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目(生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	基礎物理学Dクラス	西垣勉	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 65%</p> <p>小テストおよび課題 35%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>各授業における課題、確認問題。レポート等 100%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</p>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	TOEIC・A1(基礎)	中土井智	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期テスト 50%</p> <p>小テスト 30%</p> <p>口頭発表及び課題20%</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>第8回目と15回目の授業前テスト(Googleフォーム) 50%</p> <p>授業中の発表および授業後の課題(課題はGoogleClassroomにて成績届と共に提出)50%</p>	fujii-naka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	TOEIC・A1(基礎)	竹中義胤	<p>■成績評価方法および基準</p> <p>定期試験 50%</p> <p>小テスト 30%</p> <p>課題 20%</p>	<p>■成績評価方法および基準</p> <p>定期試験に代わりレポート</p>	takenaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	TOEIC・A1(基礎)	澤邊興平	<p>■成績評価方法および基準</p> <p>定期試験 50%</p> <p>小テスト 30%</p> <p>口頭発表及び課題 20%</p>	<p>■成績評価方法および基準</p> <p>課題(小テスト付き) 50%</p> <p>課題(宿題含む) 50%</p>	ksawabe@waka.kindai.ac.jp

外国語科目	3年	TOEIC 3	長谷川由美	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 課題 30% 小テスト 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 定期試験 TOEIC形式のテストを行う。リスニングも含まれる。	【成績評価方法および基準】 課題 50% 小テスト 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 Google Classroomもしくはメールでお伝えします。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 定期試験はありません。	hasegawa@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年・2年	オーラルスキル（英語）1・3	Ralph Famularo	■成績評価方法および基準 Oral presentations 40% In-Class Activities 30% Note-based and textbook-based quizzes 30%	■成績評価方法および基準 授業中の努力/小テスト/クイズ 60% レポート40%	bunbogu1@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	オーラルスキル（英語）1	レイフランクリン	Participation 35% Unit Quizzes 30% Final Exam 35%	30% Participation (12 online classes & 3 make-up assignments) 30% 10 HW Assignments 20% 3 Make-up Assignments: Essay, Vocab Test, & USA History Worksheet 20% Oral Final Exam	rayfranklin@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	オーラルスキル（英語）3	レイフランクリン	Participation 35% Unit Quizzes 30% Final Exam 35%	30% Participation (12 online classes & 3 make-up assignments) 30% 10 HW Assignments 20% 3 Make-up Assignments: Essay, Vocab Test, & USA History Worksheet 20% Oral Final Exam	rayfranklin@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	ドイツ語総合1	南谷真紀, 山口知廣, 北川尚	【成績評価方法および基準】 小テスト 30% 口頭発表および課題 20% 定期試験 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、試験終了後にテストの要点と解説をします。 定期試験については、試験終了後に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 (最終行) 定期試験	【成績評価方法および基準】 授業中課題50%、期末課題50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題については次回授業にて解説する。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 期末課題 期末課題については、学期終了後に要点と解説をUNIPAに掲載する。	南谷：usamina@waka.kindai.ac.jp 山口：y-chihiro@waka.kindai.ac.jp 北川：tsume@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	ドイツ語総合3	南谷真紀	【成績評価方法および基準】 小テスト 30% 口頭発表および課題 20% 定期試験 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、試験終了後にテストの要点と解説をします。 定期試験については、試験終了後に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 (最終行) 定期試験	【成績評価方法および基準】 授業中課題50%、期末課題50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題については次回授業にて解説する。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 期末課題 ※期末課題については、学期終了後に要点と解説をUNIPAに掲載する。	usamina@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	3年	英語実践1	澤邊興平	■成績評価方法および基準 定期テスト 50% 課題（宿題含む）50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 翌回の授業時間に課題担当者の答案を基に模範解答を作成して板書で提供します。	■成績評価方法および基準 課題（小テスト付き）50% 課題（宿題含む）50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 翌回の授業時間に課題担当者の答案を基に模範解答を作成して提供します。	ksawabe@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	基礎英語2/総合英語2（再履修）	新田香織	【成績評価方法および基準】 平常点（提出物・グループワークへの参加度を含む）25% テスト 25% 課題 25% 口頭発表 25%	【成績評価方法および基準】 平常点（課題提出、グループワークへの参加度、口頭発表など）50% 小テストなど 50%	nittakaori@kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1	Ralph Famularo	■成績評価方法および基準 In-Class Participation 40% Quizzes 30% Group Project Work 30%	■成績評価方法および基準 小テスト、クイズ 50% レポート 50%	bunbogu1@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1	長谷川由美	【成績評価方法および基準】 提出物 20% 小テスト 30% 定期試験 50% 【教科書】 【ISBN】9780738610719『Basic Math Refresher』（Stephen Hearne, Research & Education Association：2012） 【試験・課題に対するフィードバック方法】 Google Classroomを使います。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 定期試験	【成績評価方法および基準】 提出物 50% 小テスト 50% 【教科書】 ハンドアウトを使用します。 【試験・課題に対するフィードバック方法】 Google Classroomを使います。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 定期試験はありません。	hasegawa@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1	辻早代加	【成績評価方法および基準】 発表・課題、その他 30% 定期試験 70% 【教科書】 プリントを配布します。 【オフィスアワー】 当該科目開講時間前後の休み時間	【成績評価方法および基準】 授業で課される課題 50% 小テスト 50% 【教科書】 Google Classroom に必要なプリントをUPします。なるべくプリントアウトし、手元に用意して受講してください。 【オフィスアワー】 いつでも対応しますので、メールで連絡してください。	tsuji915@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1	畠中加代子	【成績評価方法および基準】 定期試験 40% 小テスト 20% 発表および課題40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業内やUNIPAでフィードバックします。	【成績評価方法および基準】 小テスト40% 課題及び発表60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業内でフィードバックします。	hatanaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1	美濃部貴子	【成績評価方法および基準】 定期試験 40% 小テスト 30% 口頭発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストや課題の解答・要点の解説は、授業内で行います。定期試験については、受 講生と方法を相談の上、フィードバックを行います。	【成績評価方法および基準】 小テスト：50% 発表および課題（レポート含む）50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中に解説します。または、Google Classroomに掲載します。	urwhaturead@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1【集中】	辻早代加	【成績評価方法および基準】 発表・課題、その他 30% 定期試験 70% 【教科書】 プリントを配布します。 【オフィスアワー】 当該科目開講時間前後の休み時間	【成績評価方法および基準】 授業で課される課題 50% 小テスト 50% 【教科書】 Google Classroom に必要なプリントをUPします。なるべくプリントアウトし、手元に用意して受講してください。 【オフィスアワー】 いつでも対応しますので、メールで連絡してください。	tsuji915@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）1	竹中義胤	■成績評価方法および基準 定期試験 50% 小テスト 30% 課題 20%	■成績評価方法および基準 定期試験に代わりレポート	takenaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	言語演習（英語）3	服部圭子	【成績評価方法および基準】 小テスト 30% 授業中の発表および課題 20% 定期試験 50% 試験・課題に対するフィードバック方針 授業内またはUNIPAでフィードバックします。	【成績評価方法および基準】 小テスト等 50% 授業中の発表および課題 50% 【試験・課題に対するフィードバック方針】 小テスト後に解説またはGoogle Classroomに掲載します。	khattori@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	総合英語1	藤永真理子, 片岡宏仁, 新田香織	【授業概要・方法等】 受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。 * TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。 【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表および課題 30% 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 ・課題（インターネットを使った課題やランチャタイムリーディングへの参加など） ・定期試験について ・（30回目）の予習内容：定期試験に向けての総復習 ・定期試験 テスト範囲については各担当者に確認すること。	【授業概要・方法等】 ランゲージスペースは前期中にはありません。後期にランゲージスペースが始まるので、総合英語2では参加するようにしてください。 前期中にランゲージスペースが開始される場合は、UNIPAなどを通してお知らせいたします。 例年6月に行われていた学内のTOEIC-IPテストは現在、実施されるかどうか決まっています。そのためにTOEICのテキストの学習時期が変更される可能性があります。詳細は担当教員から説明があります。 【成績評価方法および基準】 小テスト：50%、発表および課題（レポート含む）50% （定期テストがなくなりました） 【試験・課題に対するフィードバック方法】 ・課題（インターネットを使った課題など） 前期はランチャタイムリーディングはありません。変更があれば、UNIPAなどを通してお知らせいたします。 ・定期試験について 定期試験はありません。 ・（30回目）の予習内容：定期試験に向けての総復習 定期試験はありません。 ・定期試験 定期試験はありません。	hasegawa@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	総合英語1	服部圭子, 長谷川由美, 山下弥生	【授業概要・方法等】 受講期間中にランゲージスペースに指定された回数以上の参加を必修とする。 * TOEIC教材の使用は、学内TOEIC-IPテストの日程により使用期間が変わることがある。 【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 解答に関する事項を授業内またはUNIPAでフィードバックします。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 課題（インターネットを使った課題やランチャタイムリーディングへの参加など）。 第30回の予習内容：定期試験に向けての総復習。(60分) 定期試験 テスト範囲については各担当者に確認すること	【授業概要・方法等】 ランゲージスペースは前期中にはありません。後期にランゲージスペースが始まるので、総合英語2では参加するようにしてください。 前期中にランゲージスペースが開始される場合は、UNIPAなどを通してお知らせいたします。 例年6月に行われていた学内のTOEIC-IPテストは現在、実施されるかどうか決まっています。そのためにTOEICのテキストの学習時期が変更される可能性があります。詳細は担当教員から説明があります。 【成績評価方法および基準】 小テスト：50%、発表および課題（レポート含む）50% （定期テストがなくなりました） 【試験・課題に対するフィードバック方法】 主にGoogle Classroomでフィードバックします。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 前期はランチャタイムリーディングはありません。変更があれば、UNIPAなどを通してお知らせいたします。 第30回の予習内容：定期試験はありません。 定期試験はありません。	hasegawa@waka.kindai.ac.jp

外国語科目	1年	総合英語 1	服部圭子, 野口博代, 上出恵	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表および課題 30% 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第1回 オリエンテーション 各テキストの説明 リスニング Unit1 Getting Married 予習内容：Unit 1 Sccret Taste Cellsの単語チェック、本文の内容理解 予習時間：60分 復習内容：リスニング Unit1 Getting Marriedの単語および熟語の復習 復習時間：60分 授業の進め方の説明 ・予習の進め方 ・授業の進め方 ・課題（インターネットを使った課題やランタイムリーディングへの参加など） 受講に際しての注意事項 ・欠席/遅刻について ・忘れもの（テキスト・辞書）について ・携帯電話の使用の制限について ・単語/熟語の小テストについて ・定期試験について ・総合評価について 各テキストの説明 その他、受講に際しての重要事項について 【リスニング】ウェディングに関する内容のリスニング問題を解く。 【定期試験】 テスト範囲については各担当者に確認すること。	【成績評価方法および基準】 小テスト 50% 発表および課題（レポート含む）50% 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第1回 オリエンテーション 各テキストの説明 リスニング Unit1 Getting Married 予習内容：Unit 1 Sccret Taste Cellsの単語チェック、本文の内容理解 予習時間：60分 復習内容：リスニング Unit1 Getting Marriedの単語および熟語の復習 復習時間：60分 授業の進め方の説明 受講に際しての注意事項 各テキストの説明 その他、受講に際しての重要事項について 【リスニング】ウェディングに関する内容のリスニング問題を解く。 【定期試験】 なし	khattori@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	中国語総合 1	王蘭	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表及び課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。	【成績評価方法および基準】 毎回授業の課題50%、期末課題 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業課題の解答はgoogle-classroomに掲載します。 期末課題の要点と解説は提出後にgoogle-classroomに掲載します。	ou-ran@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	中国語総合 1	村田浩, 平坂仁志, 王蘭, 東條智恵	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表及び課題 30%	【成績評価方法および基準】 授業中課題 50% 期末課題 50%	村田：mypatax@waka.kindai.ac.jp 平坂：hirasaka@waka.kindai.ac.jp 王：ou-ran@waka.kindai.ac.jp 東條：zhihui@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	1年	中国語総合 1	平坂仁志	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表及び課題 30%	【成績評価方法および基準】 授業内課題 50% 授業後小テスト 50%	hirasaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	中国語総合 3	山口博子	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表及び課題 30%	【成績評価方法および基準】 授業中課題 50% 期末課題 50%	山口：mita@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語1	竹中義胤	授業形式 定期試験	遠隔授業 定期試験の代わりにレポート提出	takenaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語 1	中土井智	【成績評価方法および基準】 定期テスト 50% 小テスト 30% 口頭発表及び課題 20%	【成績評価方法および基準】 第8回目と15回目の授業前テスト(Googleフォーム) 50% 授業中の発表および授業後の課題(課題はGoogleClassroomにて成績届と共に提出) 50%	fujii-naka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語 1	長谷川由美	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 解答に関する事項をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 定期試験 範囲については授業中に指示をする。	【成績評価方法および基準】 小テスト 50% 課題 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 Google Classroomをつかいます。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 定期試験はありません。	hasegawa@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語1	長田希好	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します	【成績評価方法および基準】 毎回の授業内小テスト (Googleフォーム利用) 70% 課題30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト テスト後、解説します。 課題 提出後、解説します。	k-ci_osa@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語 1	辻早代加	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 翌回の授業時間に答案を返却し解説を行います。 【オフィスアワー】 当該科目開講時間前後の休み時間	【成績評価方法および基準】 毎回の授業で課される課題 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 翌回の授業にて解説します。 【オフィスアワー】 いつでも対応するのでメールで連絡をとってください。	tsujii915@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語 1	武智美佳	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 模範解答をUNIPAに掲載します	【成績評価方法および基準】 小テスト 50% 発表および課題 (レポート含む) 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 都度、解説します	mtakechi@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語 1	澤邊興平	■成績評価方法および基準 定期試験 50% 小テスト 20% 口頭発表および課題 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。	■成績評価方法および基準 課題 (小テスト付き) 50% 課題 (宿題含む) 50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を提供します。	ksawabe@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語1 再履修	竹中義胤	授業形式 定期試験	遠隔授業 定期試験の代わりにレポート	takenaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	2年	理系英語2 再履修	竹中義胤	授業形式 定期試験	遠隔授業 定期試験の代わりにレポート	takenaka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	3年	理系英語 3	武知薫子	【成績評価方法および基準】 プレゼンテーション 30% 小テスト・課題 30% 定期試験 40%	【成績評価方法および基準】 小テスト：50%、プレゼンテーションおよび課題（レポート含む）50%	datatuj@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	3年	理系英語3 (コンプリハンション)	中土井智	【成績評価方法および基準】 定期テスト 50% 小テスト 30% 口頭発表及び課題 20%	【成績評価方法および基準】 第8回目と15回目の授業前テスト(Googleフォーム) 50% 授業中の発表および授業後の課題(課題はGoogleClassroomにて成績届と共に提出) 50%	fujii-naka@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	3年	理系英語3 (コンプリハンション)	美濃部貴子	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% 小テスト 20% 発表および課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 小テスト：50% 発表および課題 (レポート含む) 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。GoogleClassroomに掲載します。	urwhaturead@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	3年	理系英語 3 (コンプリハンション)	澤邊興平	■成績評価方法および基準 定期試験 50% 小テスト 20% 発表および課題 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を板書として提示します。 ■教科書 【ISBN】9784384334050『理工系学生のための総合英語—GETTING TO KNOW SCITECH G』(野口ジュディー、三修社：2011)	■成績評価方法および基準 課題 (小テスト付き) 50% 課題 (宿題含む) 50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 翌回の授業時間内に課題担当者の答案を基に模範解答を作成して提供します。 ■教科書 【ISBN】9784384334050『理工系学生のための総合英語—GETTING TO KNOW SCITECH GENRES』(野口ジュディー、三修社：2011)	ksawabe@waka.kindai.ac.jp
外国語科目	3年	理系英語 3 (プレゼンテーション)	上出恵	【成績評価方法および基準】 プレゼンテーション 30% 小テスト・課題 30% 定期試験 40%	【成績評価方法および基準】 小テスト：50% プレゼンテーションおよび課題 (レポート含む) 50%	uede_m@waka.kindai.ac.jp

外国語科目	3年	理系英語応用1	片岡宏仁	<p>【成績評価方法および基準】 課題提出 30% プレゼン・口頭レポート 30% 小テスト 20% 授業内の発言 20%</p> <p>【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第1回 導入 1.1 「科学英語」と学習の指針 1.2 授業全体の概要について 1.3 英語力の確認問題 1.4 自己紹介 第2回 統計の初歩を英語で学ぶ #1: Raw Data 2.1 語彙を増やす 2.2 重要構文のおさらい 2.3 ショートプレゼンテーション 2.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 第3回 統計の初歩を英語で学ぶ #2: Sorting 3.1 語彙を増やす #2 3.2 重要構文のおさらい 3.3 ショートプレゼンテーション 3.4 予習リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第4回 統計の初歩を英語で学ぶ #3: Sample size, etc. 4.1 語彙を増やす 4.2 重要構文のおさらい 4.3 ショートプレゼンテーション 4.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第5回 統計の初歩を英語で学ぶ #4: More complex analysis 5.1 語彙を増やす 5.2 重要構文のおさらい 5.3 ショートプレゼンテーション 5.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第6回 統計の初歩を英語で学ぶ #5: Parameters 6.1 語彙を増やす 6.2 重要構文のおさらい 6.3 ショートプレゼンテーション 6.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第7回 統計の初歩を英語で学ぶ #6: Bell curve 7.1 語彙を増やす 7.2 重要構文のおさらい 7.3 ショートプレゼンテーション 7.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第8回 統計の初歩を英語で学ぶ #7: Probabilities 8.1 語彙を増やす 8.2 重要構文のおさらい 8.3 ショートプレゼンテーション 8.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第9回 統計とバイアスについて英語で読む #1: "The law of large numbers" 9.1 語彙を増やす 9.2 重要構文のおさらい 9.3 ショートプレゼンテーション 9.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第10回 統計とバイアスについて英語で読む #2: "The law of large numbers" 10.1 語彙を増やす 10.2 重要構文のおさらい 10.3 ショートプレゼンテーション 10.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第11回 統計とバイアスについて英語で読む #3: "The law of large numbers" 11.1 語彙を増やす 11.2 重要構文のおさらい 11.3 ショートプレゼンテーション 11.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第12回 統計とバイアスについて英語で読む #4 "Representativeness" 12.1 語彙を増やす 12.2 重要構文のおさらい 12.3 ショートプレゼンテーション 12.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第13回 統計とバイアスについて英語で読む #5 "Sampling" 13.1 語彙を増やす 13.2 重要構文のおさらい 13.3 ショートプレゼンテーション 13.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第14回 統計とバイアスについて英語で読む #6 "Sampling" 14.1 語彙を増やす 14.2 重要構文のおさらい 14.3 ショートプレゼンテーション 14.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第15回 統計とバイアスについて英語で読む #7 "Fallacy" 15.1 語彙を増やす 15.2 重要構文のおさらい 15.3 ショートプレゼンテーション 15.4 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分)</p> <p>中間試験 授業内で学習した語彙・構文およびリーディング素材について、主に以下の事項を出題します。 (1) 学習した語彙項目での例文完成問題 (2) 重要構文を用いた表現問題 (3) リーディング素材の内容理解問題</p>	<p>【成績評価方法および基準】 課題提出 40% レポート 30% 小テスト 30%</p> <p>【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第1回 導入 1.1 「科学英語」と学習の指針 1.2 授業全体の概要について 第2回 統計の初歩を英語で学ぶ #1: Raw Data 2.1 語彙を増やす 2.2 重要構文のおさらい 2.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 第3回 統計の初歩を英語で学ぶ #2: Sorting 3.1 語彙を増やす #2 3.2 重要構文のおさらい 3.3 予習リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第4回 統計の初歩を英語で学ぶ #3: Sample size, etc. 4.1 語彙を増やす 4.2 重要構文のおさらい 4.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第5回 統計の初歩を英語で学ぶ #4: More complex analysis 5.1 語彙を増やす 5.2 重要構文のおさらい 5.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第6回 統計の初歩を英語で学ぶ #5: Parameters 6.1 語彙を増やす 6.2 重要構文のおさらい 6.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第7回 統計の初歩を英語で学ぶ #6: Bell curve 7.1 語彙を増やす 7.2 重要構文のおさらい 7.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第8回 統計の初歩を英語で学ぶ #7: Probabilities 8.1 語彙を増やす 8.2 重要構文のおさらい 8.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第9回 統計とバイアスについて英語で読む #1: "The law of large numbers" 9.1 語彙を増やす 9.2 重要構文のおさらい 9.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第10回 統計とバイアスについて英語で読む #2: "The law of large numbers" 10.1 語彙を増やす 10.2 重要構文のおさらい 10.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第11回 統計とバイアスについて英語で読む #3: "The law of large numbers" 11.1 語彙を増やす 11.2 重要構文のおさらい 11.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第12回 統計とバイアスについて英語で読む #4 "Representativeness" 12.1 語彙を増やす 12.2 重要構文のおさらい 12.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第13回 統計とバイアスについて英語で読む #5 "Sampling" 13.1 語彙を増やす 13.2 重要構文のおさらい 13.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第14回 統計とバイアスについて英語で読む #6 "Sampling" 14.1 語彙を増やす 14.2 重要構文のおさらい 14.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分) 第15回 統計とバイアスについて英語で読む #7 "Fallacy" 15.1 語彙を増やす 15.2 重要構文のおさらい 15.3 リーディング課題の解説 予習内容: 予習リーディング課題(30分) 復習内容: 語彙と構文(30分)</p>	hrht_knk@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	3年	医用機器安全管理学 I	徳嶺朝子	<p>【成績評価方法および基準】 小テスト 20% 中間試験 30% 定期試験 50%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に「試験の要点と解説」を配布します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】 授業前テスト(Googleフォーム利用) 25 % 授業後テスト(Googleフォーム利用) 25 % 小テスト(課題提出型) 50 %</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。</p>	tokumine@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	1年	医用工学概論	山脇伸行	<p>【成績評価方法および基準】 中間試験 40% 定期試験 60%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】 【小テストおよび練習問題】 翌回の授業時間に答案(写し)を返却します。 模範答案については解答終了後か翌回の授業時間に資料を配付し、解説します。 【定期試験】 試験期間終了後に試験の要点について解説します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】 毎回の授業前テスト (Googleフォーム利用) 50% 毎回の授業後テスト (Googleフォーム利用) 50%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。</p>	yamawaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	1年	基礎医学総論	古園勉, 徳嶺朝子, 西手芳明, 他	<p>【成績評価方法および基準】 小テスト 100%</p>	<p>【成績評価方法および基準】 課題・レポート (小テスト含む) (UNIPA, Googleフォーム利用) 100%</p>	menisite@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	2年	機械工学	山本衛	<p>【成績評価方法および基準】 定期試験 70%, レポート 30%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験終了後に、試験の要点と解説を記載した資料を配付します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】 毎回の授業後の課題レポート (Googleフォーム利用) 100%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】 次回講義時に、前回課題の解説をします。</p>	ei@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	2年	計測工学	加藤暢宏	<p>【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 中間テスト 20% ミニッツペーパー 10%</p>	<p>【成績評価方法および基準】 小テスト 50% ミニッツペーパー 50%</p>	nkato@waka.kindai.ac.jp

専門科目 (医用工学科)	3年	材料工学	西川博昭	【アクティブ・ラーニングの形態】 グループワーク 【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 中間試験 30% 宿題 (各回5分から20分程度の演習問題) 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中課題については、翌日以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。 試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第8回 中間試験と半導体材料1 (真性・不純物半導体)	【アクティブ・ラーニングの形態】 該当なし 【成績評価方法および基準】 毎回の授業後の小テスト (Google Classroom経由で出題・提出) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 Google Classroom経由での提出締め切り後、略解を掲示します。 特に重要な内容については、翌回の授業で解説します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第8回 半導体材料1 (真性・不純物半導体)	nishik32@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	3年	制御工学	宮下尚之	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 講義中アクティブラーニングで実施する課題への取り組み (ループバック) 30%	【成績評価方法および基準】 ほぼ毎回、講義中や宿題に出す小課題に対する取り組み 30% 稀に講義中に実施する総合的な大課題 70%	miya@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	3年	生体機能代行装置学Ⅱ	福田誠, 西手秀明	■成績評価方法および基準 定期試験 50% 小テスト 15% 中間試験 35% ■試験・課題に対するフィードバック方法 その回の時間内 (講義時間後半) に解説を行います。試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	■成績評価方法および基準 授業中テスト (Googleフォーム、ZOOM利用) 70%、課題・レポート 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 テスト後に解説を行います。	fukuda@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	1年	生命倫理	吉田浩二	【成績評価方法および基準】 定期試験 80% 授業中の課題 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義で課題の要点について説明する。	【成績評価方法および基準】 随時実施する課題レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義で課題の要点について説明する。	kojiy@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	2年	生理学	吉田浩二	【成績評価方法および基準】 定期試験 80% 授業中の課題 (小試験) 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義で課題の要点について説明する。	【成績評価方法および基準】 授業中随時実施する課題レポート50%、テスト50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義で課題、テストの要点について説明する。	kojiy@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	2年	電気工学Ⅱ	山脇伸行	【成績評価方法および基準】 中間試験 40% 定期試験 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 【中間試験】 試験時間終了後に試験の要点について解説します。 【定期試験】 試験時間終了後に試験の要点について解説します	【成績評価方法および基準】 毎回の授業前テスト (Googleフォーム利用) 50% 毎回の授業後テスト (Googleフォーム利用) 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。	yamawaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	2年	電気電子工学	西川博昭	【アクティブ・ラーニングの形態】 グループワーク 【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 中間試験 30% 宿題 (各回5分から20分程度の演習問題) 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中課題については、翌日以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。 試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第8回 中間試験および磁気 (電磁誘導)	【アクティブ・ラーニングの形態】 該当なし 【成績評価方法および基準】 毎回の授業後の小テスト (Google Classroom経由で出題・提出) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 Google Classroom経由での提出締め切り後、略解を掲示します。 特に重要な内容については、翌回の授業で解説します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第8回 磁気 (電磁誘導)	nishik32@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	3年	電子工学Ⅱ	三上勝大	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 中間試験 30% 講義中課題 10%	【成績評価方法および基準】 毎回の講義後テスト (最終回を除く・Google form利用) 60% 最終回講義後テスト (Google form利用) 40%	kmikami@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	2年	臨床医学総論Ⅰ	正木秀幸, 重岡宏典, 竹山直典, 植嶋利文, 中尾慎一	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験出題要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、試験終了後に解説を行います。	【成績評価方法および基準】 期末テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験出題要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、試験終了後に解説を行います。	masaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	3年	臨床医学総論Ⅲ	正木秀幸, 平野豊, 三井良之	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験出題要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、試験終了後に解説を行います。	【成績評価方法および基準】 期末テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験出題要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、試験終了後に解説を行います。	masaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (医用工学科)	3年	臨床生理学	福瀬正彦	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 小テスト 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。	【成績評価方法および基準】 授業内で課後レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業内で解説する。	ei@waka.kindai.ac.jp (代理: 教務委員・山本 衛)
専門科目 (医用工学科)	3年	臨床免疫学	宮澤正則	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の出題意図の要点と解説および講評を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業中に、事前通達無しに複数回行う小テスト (Zoomのチャットを利用) 50% 講義期間中に最低3回行うレポート提出 (Google Classroom利用) 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、講義中に解説する。 レポートについては、ループバックによって採点后、講評を公開してフィードバックする。	masaaki@med.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	2年	疫学論	栗原新	【成績評価方法および基準】 期末試験 70% 小テスト 30% 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 (最終行に) 定期試験	【成績評価方法および基準】 授業中の課題への返答 30% 小テスト 70% 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 (最終行に) 定期試験←削除	skurihara@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	2年	食品安全学	泉秀実	【成績評価方法および基準】 定期試験 85% レポート (2回に分けて提示した課題に対しレポート用紙1~2枚) 15% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に「試験の要点と解説」を掲示板またはUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 小テスト (Googleフォームを利用して5回) 80% レポート (2回に分けて提示した課題に対しレポート用紙1枚程度) 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストおよびレポート提出後に、解説します。	izumi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	1年	食品材料学	岸田邦博	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 3回の授業後テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。	kishida@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	2年	食品微生物学	芦田久	【成績評価方法および基準】 毎回の小テスト 20% 中間試験 20% 定期試験 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 毎回の小テスト・中間テストは、終了後または翌回の授業時間に解説します。 定期試験終了後 (試験期間終了後) に「試験の要点と解説」をWebで配信します。	【成績評価方法および基準】 毎回の小テスト 20% 中間レポート 40% 期末レポート 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストは授業時間内に解説します。 レポートの講評はUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	ashida@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	2年	食品分析化学	多中良栄	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 授業中課題 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中課題および予習・復習課題については、翌回の授業時間に解答と解説を行います。 定期試験については、試験期間終了後に模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 復習課題 (Googleフォーム利用) 60% 授業中課題 (Googleフォーム利用) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中課題および予習・復習課題については、翌回の授業時間に解答と解説を行います。	y-tanaka@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	1年	生化学Ⅰ	武部聡	【試験・課題に対するフィードバック方法】 解答例をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【試験・課題に対するフィードバック方法】 解答例をGoogle Classroomに掲載します。	takebe@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	1年	生体物質基礎	多中良栄	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 授業中課題 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中課題および予習・復習課題については、翌回の授業時間に解答と解説を行います。 定期試験については、試験期間終了後に模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 復習課題 (Googleフォーム利用) 60% 授業中課題 (Googleフォーム利用) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業中課題および予習・復習課題については、翌回の授業時間に解答と解説を行います。	y-tanaka@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	1年	動物栄養学	白木琢磨	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 小テスト・レポート 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 【試験の要点と解説】を掲示板に掲載します。	【成績評価方法および基準】 小テスト50%・レポート 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。	shiraki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	2年	動物生産学	松橋珠子	【成績評価方法および基準】 課題レポート 40% 小テストおよび定期試験 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の要点や解説を授業時間内に行い、あるいはUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 課題レポート 50% 予習・復習レポート、小テスト 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の要点や解説を授業時間内に行い、あるいはUNIVERSAL PASSPORT等に掲載します。	t4matsu@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科、遺伝子工学科、食品安全工学科、医用工学科)	1年	物理学Ⅰ	瀧端広充	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% レポート 40%	【成績評価方法および基準】 レポート 100%	hamabata@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科、食品安全工学科)	1年	数学	堤裕之	■成績評価方法および基準 定期試験 50% 小テスト 50%	■成績評価方法および基準 小テスト 100%	tutumi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科、食品安全工学科)	1年	基礎数学	山崎宏	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 問題演習・課題 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 問題演習・課題に関しては解答例を配布または授業内に解説を行います。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業前テスト (Google classroom利用) 50% 毎回の授業後テスト (Google classroom利用) 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説します。	h-yamasaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	分子生物学Ⅱ	児玉高志	【成績評価方法および基準】 授業中の課題 70% 定期試験 30% 【研究室・メールアドレス】 講師控室 (2号館2階) infokodama@waka.kindai.ac.jp 【オフィスアワー】 当該科目開講時間の前後休憩時間とします。 【定期試験】 選択式を中心とした試験を行います。	【成績評価方法および基準】 授業中に提示する課題 100% 【研究室・メールアドレス】 infokodama@waka.kindai.ac.jp 【オフィスアワー】 質問等は、メールを介して行います。 【定期試験】 行いません。	infokodama@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	1年	コンピュータ概論	青木伸也	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIVERSALPASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 課題レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題レポート提出期間終了後に課題の解説をUNIVERSALPASSPORTに掲載します。	aoki@waka.kindai.ac.jp

専門科目 (生命情報工学科)	3年	システム情報処理実習 I	小濱剛, 青木伸也	(小濱の担当のみ) 【成績評価方法および基準】 レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 (第1回から第10回まで) 回収したレポートの中から良いレポートと悪いレポートを随時ピックアップし、提出者を伏せた状態で、どこが良い点で、何が悪い点であるのかを解説した上で、どのような基準で評価するのかを説明する。	(小濱の担当のみ) 【成績評価方法および基準】 レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 (第1回から第9回まで) 回収したレポートの中から良いレポートと悪いレポートを随時ピックアップし、提出者を伏せた状態で、どこが良い点で、何が悪い点であるのかを解説した上で、どのような基準で評価するのかを説明する。	kohama@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	デジタル回路	篠原寿広	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 小テスト(10回程度) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、小テスト終了後すぐに解説する。定期試験については、試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに記載する。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業内小テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説する。	sinohara@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	デジタル回路	篠原寿広	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 小テスト(10回程度) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、小テスト終了後すぐに解説する。定期試験については、試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに記載する。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業内小テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説する。	sinohara@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科) / 学際領域 (人間環境デザイン工学科、医用工学科)	4年	バイオインフォマティクス	米澤康滋	【成績評価方法および基準】 講義中の質疑応答 30% 講義に関する課題学習への対応 (自宅学習) 30% 試験 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 前回の講義で課した課題学習の結果を当該講義中に発表させて詳しい講評を実施し併せて修正点を指摘する。また新たな調査が必要な場合はその調査研究を指示する。	【成績評価方法および基準】 講義中の質疑応答等 50% 課題学習提出状況 及び その評価 (自宅学習等含む)等 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 事前に示した課題学習を講義前に提出し その内容を当該講義中に発表する。これに対して詳しい講評と解説を実施し併せて修正点を指摘する。新たな調査が必要な場合は追加の調査研究を指示する。	yonezawa-wk@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	バイオセンサー	永岡隆	【成績評価方法および基準】 中間試験 40% 期末試験 40% その他提出物等。クリッカーによる回答も成績に反映します。 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験後に回答を配布します。	【成績評価方法および基準】 授業中に実施する課題 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題提出締切後に回答配布や解説をします。	nagaoka@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	バイオマテリアル	古園勉	【成績評価方法および基準】 中間試験30% 定期試験70%	【成績評価方法および基準】 課題レポート (小テストを含む) 100%	furusono@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	プログラミング	篠原寿広	【成績評価方法および基準】 小テスト(10回程度) 40% 定期試験 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、小テスト終了後すぐに解説する。定期試験については、試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに記載する。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業内小テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト後、解説する。	sinohara@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	応用数学 I	一野天利	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 小テスト 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 レポート課題 (2回) 70% 毎回の授業後小テスト 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストはテスト後、解説します。レポート課題は提出締切後、解説します。	ichino@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	確率基礎	中迫昇	■成績評価方法および基準 定期試験 50% 小テストとレポート 50% ■試験・課題に対するフィードバック方法 課題については毎回解説します。 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	■成績評価方法および基準 小テスト 70% 授業時間中の質疑応答 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 小テスト、質疑応答については毎回解説します。	nakasako@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	1年	基礎数学演習 I (一野クラス)	一野天利	【成績評価方法および基準】 定期試験 45% 小テスト 55% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 レポート課題 (2回) 45% 毎回の授業後小テスト 55% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストはテスト後、解説します。レポート課題は提出締切後、解説します。	ichino@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	1年	基礎数学演習 I (永岡クラス)	永岡隆	【成績評価方法および基準】 初回試験 10% 中間試験 20% 期末試験 20% レポート (ただし、全てのレポート提出が単位認定には必要) 50%	【成績評価方法および基準】 授業中に実施する課題 50% レポート (ただし、全てのレポート提出が単位認定には必要) 50%	nagaoka@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	細胞生物学	秋田求	【成績評価方法および基準】 中間試験 50% 定期試験 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 時間内に解説すると共に、要点と解説をUNIVERSAL PASSPORT (ユニパ) に掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 (最終行) 定期試験 全範囲の試験を行う。各小試験問題を試験準備のてがかりにすることが出来る。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業中テスト (Google classroom利用) 27% 毎回の授業後テスト (Google classroom利用) 55% 中間試験 (Google classroom利用) 11% 課題レポート (Google classroom利用) 7% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 要点と解説をGoogle classroomに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 定期試験は行いません。	akita@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	情報基礎	木村裕一	【成績評価方法および基準】 定期試験 100%	【成績評価方法および基準】 小テスト50% レポート50%	ukimura@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	数値計算	青木伸也	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIVERSALPASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 課題レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題レポート提出期間終了後に課題の解説をUNIVERSALPASSPORTに掲載します。	aoki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	制御基礎論	小濱剛	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義の節目ごとに課題を課し、講義中に解答例を示す。また、試験の要点や解説はUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。	【成績評価方法および基準】 講義中の小テスト (Googleフォーム利用) 70% 講義後のレポート (Googleフォーム利用) 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義中に要点を解説する	kohama@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	生体情報工学実験	中迫昇, 浅居正充, 吉田久, 篠原寿広, 上保徹志	【成績評価方法および基準】 レポート 50% 実験実技 50%	【成績評価方法および基準】 シミュレーション実験あるいはビデオ教材に対するレポート 100%	nakasako@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	3年	生体信号解析	吉田久	【成績評価方法および基準】 定期試験 90% 小テスト 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストを実施した時は、翌回の授業時間に試験の要点と解説を行う。定期試験終了後UNIPAに略解を掲示します。	【成績評価方法および基準】 授業中の課題 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 翌週に解説します。(課題内容次第で、解説を省略する場合もある)	yoshida@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	1年	生命情報工学総論	生命情報工学科全教員	【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート提出期限後に各レポート課題の採点基準をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 第3回 オープンラボ (研究室見学) 第4回 オープンラボ (討論)	【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート提出期限後に各レポート課題の採点基準をGoogle Classroomに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】 第3回 マイキャン/スプラン 第4回 マイキャン/スライフ	sinohara@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	電子回路 II	浅居正充	【成績評価方法および基準】 定期試験100%	【成績評価方法および基準】 オンライン口頭試験100%	asai@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科)	2年	脳・神経生理学	加藤博己	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 小テスト3回 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、試験終了後に要点について解説を行います。定期試験については、試験終了後に要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業後テスト (Googleフォーム等を利用) 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、次の授業開始時に要点について解説を行います。	kato@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科) / 学際領域 (生物工学科、遺伝子工学科、食品安全工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	4年	脳と情報科学	小濱剛	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% レポート 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート課題は、事前に配布したルーブリック表に基づいて採点する。回収したレポートの中から良い例と悪い例を何件かピックアップし、提出者の氏名を伏せた状態で、どこが良い点で、何が悪い点であるのかを解説する。また、試験の要点や解説はUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。	【成績評価方法および基準】 講義中の小テスト (Googleフォーム利用) 70% レポート (Googleフォーム利用) 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート課題は、事前に配布したルーブリック表に基づいて採点する。回収したレポートの中から良い例と悪い例を何件かピックアップし、提出者の氏名を伏せた状態で、どこが良い点で、何が悪い点であるのかを解説する。また、小テストの要点は講義中に解説する。	kohama@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	物理学 I	木村裕一	【成績評価方法および基準】 定期試験 100%	【成績評価方法および基準】 小テスト50% レポート50%	ukimura@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	化学 I	藤澤雅夫	【成績評価方法および基準】 定期試験85% 小テスト15% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験終了後 (試験期間終了後) に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 小テストは終了後、「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 授業前テスト (Googleフォーム等を利用) 20% 授業後テスト (Googleフォーム等を利用) 80% 【成績評価方法および基準】 テスト後、解説します。	fujisawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	化学 I	櫻井一正	【成績評価方法および基準】 定期試験 40% 中間テスト 40% 授業中の演習 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業内演習や中間テストの解答と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載し、かつその一部を次の授業の冒頭で説明する。	【成績評価方法および基準】 中間レポート2回 50% 授業中の課題 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業内課題や中間テストの解答と解説をUNIVERSAL PASSPORTやGoogle Classroomに掲載し、かつその一部を次の授業の冒頭で説明する。	sakurai@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (全学科)	1年	生物学I	中村洋一	【成績評価方法および基準】 定期試験 75% レポート 25% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 教科書の各章を2回の講義で進めるが、各章ごとにレポートを課す (計6回) 。“UNIVERSAL PASSPORT”のシステムを使って提出すること。レポートに関しては次の講義で解説する。試験に関しては、試験終了後UNIVERSAL PASSPORTに模範解答を掲載する。	【成績評価方法および基準】 期末試験50% (キャンパスの状況が実地講義ができるように改善されていけば、できるだけ最終の講義時間に筆記試験を行う。この場合講義数を15回確保するために補講を行う予定である。もし過隔講義の状況が前期の最後まで継続しているようであれば、期末試験の代わりとなる大きなレポートを課す。) レポート 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 教科書の各章を原則2回の講義で進めるが、各章ごとにレポートを課す (計6回) 。Classroomのシステムを使って提出すること。レポートに関しては次の講義で解説する。期末試験に関しては、試験終了後Classroomのシステムを使って模範解答を掲載する。	ynakamura@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (全学科)	1年	生物学I	平井秀一	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 授業中課題 (ミッツペーパー) 30%	【成績評価方法および基準】 毎回のミッツペーパー (Googleフォーム利用) 30% 毎回の授業後テスト (Googleフォーム利用) 70%	s-hirai@waka.kindai.ac.jp

専門科目（人間環境デザイン工学科）／学際領域（生物工学科、遺伝子工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、医用工学科）	4年	スポーツダイナミクス	谷本道哉	【成績評価方法および基準】 定期試験80% レポート20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 定期試験の解答を試験後UNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業後テスト80%（google フォーム利用） レポート20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 翌授業で前授業後テストの解説をします	tanimoto@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	2年	センサ工学	楠正暢	■成績評価方法および基準 定期試験 100%	■成績評価方法および基準 各回の課題 100%	kusunoki@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	1年	プロダクトデザイン	藤田浩司, 山田崇史	【成績評価方法および基準】 確認テスト 60% レポート 40%	【成績評価方法および基準】 確認テスト 40% レポート 60%	fujita@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	2年	ユニバーサルデザイン・CAD演習 I	廣川敬康, 西垣勉	【成績評価方法および基準】 総合演習 30% レポート・製図等課題（全課題を提出すること） 70%	【成績評価方法および基準】 レポート 60%	hirokawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	1年	ユニバーサルデザイン概論	廣川敬康, 豊田航	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% レポート 30% 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 定期試験	【成績評価方法および基準】 レポート 70% 演習 30% 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 定期試験なし	hirokawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	2年	応用解析学 I	西垣勉	■成績評価方法および基準 定期試験 70% 授業中課題・レポート 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 授業中課題については、翌回以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。 試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	■成績評価方法および基準 授業中課題・レポート 100% ■試験・課題に対するフィードバック方法 授業中課題・レポートについて、要点を解説します。	nisigaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	温熱環境学（平成26～29年度入学生用）	藤田浩司	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 授業中の課題（Googleフォーム利用）100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の実施後に解説します。	fujita@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	温熱空気環境学（平成30～令和2年度入学生用）	藤田浩司	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 授業中の課題（Googleフォーム利用）100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の実施後に解説します。	fujita@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	確率統計	豊田航	【成績評価方法および基準】 定期テスト 70% 小テスト 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 ・課題の解説を講義で行います。 ・試験の解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 授業内小テスト 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 ・小テストの解説を次回講義で行います。	toyoda_w@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）／学際領域（生物工学科、遺伝子工学科、食品安全工学科、生命情報工学科、医用工学科）	4年	感性デザイン	片山一郎	【成績評価方法および基準】 定期試験70% 小テスト30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 レポート（計算課題を中心とする）100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート提出後、解説します。	katayama@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	建築と照明	片山一郎	【成績評価方法および基準】 定期試験70% 小テスト30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 レポート（計算課題を中心とする）100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート提出後、解説します。	katayama@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	建築施工	山本昌輝	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 確認テスト40%	【成績評価方法および基準】 課題100%	yamamoto-masaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	建築法規	中西達彦	【成績評価方法および基準】 確認テスト 40% 定期試験 60%	【成績評価方法および基準】 確認レポート 40% レポート課題 60%	tanakanishi@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	2年	材料力学I	野田淳二	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 中間試験 30% 宿題等の提出 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 ・・・（最後の行） 定期試験 講義で学んだすべての内容を試験範囲とする。	【成績評価方法および基準】 総合演習課題 70% 演習・宿題等の提出 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の要点を解説します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 ・・・（最後の行） <削除>	nodaj@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	1年	人間医工学概論	大澤恭子	【成績評価方法および基準】 毎回の課題レポート 40% 定期試験 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 毎回の課題レポートについては、翌回の授業時間に採点の要点と講評をおこないます。 定期試験については、試験期間終了後に模範解答、要点と解説を研究室に掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回の課題レポート 100%（Google Classroom利用） 【試験・課題に対するフィードバック方法】 毎回の課題レポートについては、翌回の授業時間に採点の要点と講評をおこないます。	t-osawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	生体計測学	中川秀夫	【成績評価方法および基準】定期試験 40% 毎回授業での課題または宿題 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 定期試験の模範解答は、試験終了後研究室前に掲示します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 定期試験 出題範囲は1～15回の内容、練習問題、課題についての計算・記述問題であるので、良く復習しておくこと（資料等持ち込み不可）。なお、計算のための電卓持参のこと。	【成績評価方法および基準】 毎回授業での課題または宿題 75% 質問などの授業への取り組み姿勢 25% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 定期試験の内容を削除 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 定期試験は行わない	nakagawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	2年	生理学	谷本道哉	【成績評価方法および基準】 定期試験80% レポート20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 定期試験の解答を試験後UNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業後テスト80%（google フォーム利用） レポート20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 翌授業で前授業後テストの解説をします	tanimoto@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	2年	福祉情報デザイン	豊田航	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 課題（小テスト） 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の解説を講義で行います。	【成績評価方法および基準】 レポート 70% 授業内小テスト（Googleフォーム利用） 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 ・レポートの講評を講義内に行います。 ・小テストの解説を次回の講義で行います。	toyoda_w@waka.kindai.ac.jp
専門科目（人間環境デザイン工学科）	3年	流れ学	大政光史	【成績評価方法および基準】 中間試験 80% 最終レポート 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験とレポートの要点と解説について授業時間での説明またはUNIVERSAL PASSPORTでの掲載を行います。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業後レポート 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 次回または授業中に解説します。	ohmasa@waka.kindai.ac.jp
専門科目（遺伝子工学科、食品安全工学科）／学際領域（全学科）	1年	生命科学概論	加藤博己	【成績評価方法および基準】 定期試験 30% レポート 70% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポートについては、翌回の授業時間に提出された受講者の考えに対する分析結果を示し共有することで、受講者は多面的な思考を身につけます。定期試験については、試験期間終了後「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 小レポート 50% 小テスト3回 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、実施後の次の講義の開始時に要点について解説を行います。	kato@waka.kindai.ac.jp
専門科目（生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科）	1年	数学（Bクラス）	福田誠	■成績評価方法および基準 定期試験 70% 小テスト 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 小テスト、中間テストについては解答例を示します。定期試験の要点と解説を掲示します。	■成績評価方法および基準 授業中テスト（Googleフォーム、ZOOM利用）70%、課題・レポート 30% ■試験・課題に対するフィードバック方法 テスト後に解説を行います。	fukuda@waka.kindai.ac.jp
学部基礎科目	1年	バイオテクノロジー技術論	瀧川義浩	【成績評価方法および基準】 定期試験100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 定期試験終了後（試験期間終了後）に生物生産工学研究室（512号実験室）前にて試験の要点等を掲示します。	【成績評価方法および基準】 定期試験に変わる課題を出しますのでそれを提出してください。 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題に対する解説等をUNIVERSAL PASSPORT（これに限定しない）等で掲載します。	takikawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目（生物工学科）	2年	基礎微生物学	阿野貴司	成績評価方法および基準 定期試験 80% 講義中に指定する課題に対するミニレポート（ルーブリック評価） 20%	成績評価方法および基準 レポート課題 70% 講義中に指定する課題についてのミニレポート（ルーブリック評価） 30%	tano@waka.kindai.ac.jp
専門科目（生物工学科）	1年	計量生物学	堀端章	■成績評価方法および基準 定期試験（中間試験および期末試験）100% ■試験・課題に対するフィードバック方法 中間試験については講義内で解説を行います。期末試験については模範解答をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 演習課題 30% Googleフォーム利用をした到達度テスト 70% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 テスト後、解説します。	horibata@waka.kindai.ac.jp
専門科目（生物工学科）	1年	公衆衛生学	江口陽子	【成績評価方法および基準】 定期テスト 50% 中間テスト 20% レポート 20% 小課題 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 中間テストに関しては翌回の授業時間に答案（写し）を返却、定期テストに関しては試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。レポートについては講義を講義中に行います。	【成績評価方法および基準】 レポート 40% 小課題（講義中に課題） 60% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポートについては講義を講義中に行います。小課題については、翌回の講義で答え合わせと解説をします。	yeguchi@waka.kindai.ac.jp
専門科目（生物工学科）	2年	細胞生物学Ⅱ	大和 勝幸	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 授業ノートの作成と提出（毎回） 30% 授業内テスト（隔週、Googleフォーム利用） 70% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	kyamato@waka.kindai.ac.jp
専門科目（生物工学科）	2年	植物育種学	堀端 章	■成績評価方法および基準 プレゼンテーション 20% 定期試験 80% ■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験については、その要点と解説を、講義中に解説するまたはUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。	■成績評価方法および基準 プレゼンテーション 20% Googleフォーム利用した授業前テストおよび授業後テスト 80% ■試験・課題に対するフィードバック方法 授業前テストおよび授業後テストについては、テスト後に解説します。	horibata@waka.kindai.ac.jp

専門科目 (生物工学科)	2年	植物生産工 Ⅰ	星岳彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アクティブ・ラーニングの形態</li> <li>-</li> <li>■ICTを活用したアクティブ・ラーニング</li> <li>-</li> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>小テスト 50%</li> <li>定期試験 50%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>小テストは、次回の授業冒頭で解説および模範解答を講義し、質問を受け付けます。</li> <li>定期試験は、終了後に模範解答をお知らせし、質問を受け付けますので、オフィスアワーに來訪願います。</li> <li>■授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間</li> <li>定期試験</li> <li>持ち込み不可で、毎回の小テストを中心に課題を出します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アクティブ・ラーニングの形態</li> <li>オンライン授業</li> <li>■ICTを活用したアクティブ・ラーニング</li> <li>UNIPA、google classroom、zoomをICTツールとして用いる</li> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>オンライン授業日当日に出題・提出期限の小テスト課題 50%</li> <li>レポート 50%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>小テスト課題は、次回のオンライン授業冒頭で解説および模範解答を講義し、質問を受け付けます。</li> <li>レポートはメール等による照会にて対応します。</li> <li>■授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間</li> <li>※15回目の講義は、レポート評価後の補講として実施します。</li> </ul>	hoshi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	2年	植物生理学	坂本勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 80%</li> <li>小テスト 20%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>小テスト・課題 100%</li> </ul>	sakamoto@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	2年	生化学Ⅱ	梶山慎一郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 50%</li> <li>授業内小テスト (ミニツッパバーと中間テストを含む) 50%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業後問題 (ミニツッパバー) の解答は翌回までにUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> <li>定期試験の要点と解説を試験後UNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>授業中ミニテスト (Google Classroom 利用) 50% 毎回の授業後テスト (Google Classroom 利用) 50%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テスト後、解説します。</li> </ul>	kajiyama@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	1年	有機化学基礎	松川哲也	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期テスト60%</li> <li>小テスト40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テストの解説は講義中に解説を行う。</li> <li>定期試験の要点と出題の意図は試験終了後に教員研究室に掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期テスト (レポート形式) 60%</li> <li>小テスト (レポート形式) 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テストの解説は講義中に解説を行う。</li> <li>定期試験の要点と出題の意図は試験終了後にGoogle Classroomに掲示する。</li> </ul>	tmatsu@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科、食品安全工学科) / 学際領域 (遺伝子工学科、生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	3年	免疫・アレルギー学	芦田久	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>毎回の小テスト 20%</li> <li>中間試験 20%</li> <li>定期試験 60%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>毎回の小テスト・中間テストは、終了後または翌回の授業時間に解説します。</li> <li>定期試験終了後 (試験期間終了後) に「試験の要点と解説」をWebで配信します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>毎回の小テスト 20%</li> <li>中間レポート 40%</li> <li>期末レポート 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>毎回の小テストは終了後または翌回の授業時間に解説します。</li> <li>レポートの講評はGoogle Classroomで配信します。</li> </ul>	ashida@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	物理学Ⅰ	西垣勉	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>定期試験 70%</li> <li>授業中課題・レポート 30%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>授業中課題については、翌日以降の授業時間に答案を返却し、要点を解説します。</li> <li>試験については、試験期間終了後に試験の要点と講評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>授業中課題・レポート 100%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>授業中課題・レポートについて、要点を解説します。</li> </ul>	nisigaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	物理学Ⅰ Cクラス	西垣勉	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 65%</li> <li>小テストおよび課題 35%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	物理学Ⅰ Dクラス	西垣勉	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 65%</li> <li>小テストおよび課題 35%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	物理学Ⅰ Eクラス	西垣勉	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 65%</li> <li>小テストおよび課題 35%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科)	1年	物理学Ⅰ Fクラス	西垣勉	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 65%</li> <li>小テストおよび課題 35%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>翌回の授業時間に答案 (写し) を返却します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	基礎数学A	中迫昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 60%</li> <li>小テスト・課題 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テスト・課題に関しては模範解答を配布します。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	基礎数学B	中迫昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 60%</li> <li>小テスト・課題 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テスト・課題に関しては模範解答を配布します。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	基礎数学C	中迫昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 60%</li> <li>小テスト・課題 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テスト・課題に関しては模範解答を配布します。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	基礎数学D	中迫昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 60%</li> <li>小テスト・課題 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テスト・課題に関しては模範解答を配布します。なお、特に注意を要する問題については、授業内に解説を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>各授業における課題・確認問題。レポート等 100%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業中に解説をします。また、必要に応じて模範解答を配布いたします。</li> </ul>	ae-bost-kiso@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	数学A	楠正暢	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>定期試験 70%</li> <li>小テスト 30%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>小テストについては回答例を示します。</li> <li>定期試験の要点と解説を掲示します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>各回の課題 100%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>各回の課題に対する解説をします。</li> </ul>	kusunoki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科)	1年	数学C	中迫昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>定期試験 50%小テストとレポート 50%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>課題については毎回解説します。試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績評価方法および基準</li> <li>小テスト 70%</li> <li>授業時間中の質疑応答 30%</li> <li>■試験・課題に対するフィードバック方法</li> <li>小テスト・質疑応答については毎回解説します。</li> </ul>	nakasako@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	2年	分子生物学Ⅱ	宮本裕史	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>小テスト20%</li> <li>中間テスト40%</li> <li>定期試験40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テスト・中間テストについては、次の授業時間に解説します。授業中の課題については、その都度説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>授業後の小テスト20% (Googleフォーム利用)</li> <li>レポート80%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テストについては、次の授業時間に解説します。</li> </ul>	miyamoto@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	3年	遺伝子機能解析学	中西章	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 80% レポート (授業毎に配布する用紙に記入) 20%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>提出課題については、理解度別に課題レポート内容をコメントとともにUNIVERSALPASSPORTに掲載します。</li> <li>試験終了後 (試験期間終了後) に、試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>課題 60% レポート 40%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>課題については、解答例を講義内で解説。</li> </ul>	nakanishi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	2年	遺伝子工学	高木良介	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 80%</li> <li>小テスト 20%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>毎回の授業後テスト (Googleフォーム利用) 50%</li> <li>レポート課題 50%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業後テストは、次回の授業冒頭で解説します。</li> <li>レポート課題の要点と解説を試験後UNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	rtakagi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	1年	化学I	高木良介	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 80%</li> <li>授業中の課題およびレポート 20%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>毎回の授業後テスト (Googleフォーム利用) 50%</li> <li>レポート課題 50%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>授業後のテストは、翌週の授業冒頭で解説します。</li> <li>レポート課題の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	rtakagi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	3年	幹細胞・再生医学	三谷匡	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>小テスト 30%</li> <li>定期試験 70%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>小テストについては、試験終了後にテストの要点と解説をします。定期試験については、試験終了後に試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> <li>【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】</li> <li>(最終行) 定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>授業後のミニツッパバー 30%</li> <li>授業中随時実施する課題レポート 40%</li> <li>テスト 30%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>講義で課題、テストの要点について説明する。</li> <li>【授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間】</li> <li>(最終行) 定期試験 → 削除</li> </ul>	mitani@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	1年	細胞生物学Ⅰ	松本和也	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>定期試験 80%</li> <li>レポート (授業毎に配布する用紙に記入) 20%</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>提出課題については、理解度別に課題レポート内容をコメントとともにUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> <li>試験終了後 (試験期間終了後) に、試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成績評価方法および基準】</li> <li>毎回の講義でGoogleフォーム・Zoomによって課す講義レポート (70%) と復習ミニテスト等 (30%) で成績評価します。</li> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>提出される講義レポートについては、理解度別に講義レポート内容をコメントとともにGoogleClassroomに掲載します。</li> <li>復習ミニテスト後に、説明します。</li> </ul>	kazum@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	3年	生殖工学実験	安齋政幸, 宮本圭, 黒坂哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>提出されたレポート (複写ページ) ・スケッチ等を通じて評点と解説を記入し、翌回の授業時間に返却する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【試験・課題に対するフィードバック方法】</li> <li>提出されたレポート・授業内課題・授業外課題等を通じて評点と解説を記入し、翌回の授業時間に返却する。</li> </ul>	anzai@waka.kindai.ac.jp

専門科目 (遺伝子工学科)	3年	生命科学のための情報レテラシー	加藤博己	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 小テスト3回 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、試験終了後に要点について解説を行います。定期試験については、試験終了後に要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回授業後テスト (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 次回の授業の開始時に解説します	kato@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	3年	生命科学のための分析化学	永井宏平	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 授業中課題 (15回) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 授業中課題 (Googleフォーム利用) 60% レポート課題 (Googleフォーム利用) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 授業内で要点の解説、もしくは回答の配布をします。	knagai@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	1年	動物学	齋藤貴宗	【成績評価方法および基準】 定期試験 80% レポート 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 模範解答のUNIVERSAL PASSPORTへの掲載。	【成績評価方法および基準】 レポート (数回) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポート提出後、授業中に解説。 模範解答のUNIVERSAL PASSPORTへの掲載。	tsaito@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	1年	動物生理学	黒坂 恒	【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 定期試験については、試験終了後に「試験の要点と解説」(印刷物)を配布する。 【教科書】 【留意事項】プリントを配布する。	【成績評価方法および基準】 授業内課題 (Googleフォーム利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 翌回の授業までに採点・返却し、翌回の授業で解説する。 【教科書】 【留意事項】Google Classroomに資料をアップロードする。	kurosaka@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	2年	動物繁殖学	三谷 匡	【成績評価方法および基準】 小テスト 30% 定期試験 70% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テストについては、試験終了後にテストの要点と解説をします。 定期試験については、試験終了後に「試験の要点と解説」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 (最終行) 定期試験	【成績評価方法および基準】 課題レポート 60% ミニッツペーパー 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題レポートについては、前期終了後に「課題の解説と講評」をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。 ミニッツペーパーについては、次回の授業で紹介をします。 【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 (最終行) 定期試験→削除	mitani@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	2年	発生生物学 II	中西 章	【成績評価方法および基準】 定期試験 50% レポート 30% 小テスト 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 課題 60% レポート 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題の解答例について講義内で解説します。	nakanishi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	2年	微生物学	田口 善智	【成績評価方法および基準】 定期試験 80% 小テスト 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回の授業後に出席する課題に対する回答 (Googleフォーム利用) 60% 最終回の授業後に出席する課題に対する回答 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 毎回の授業後に出席する課題については、その直後の授業の開始時に解説します。 最終回の授業後に出席する課題については、課題提出締切後にGoogleクラスルームに解説を掲載します。	taguchi@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (遺伝子工学科)	3年	分子発生学	山藤 一夫	【成績評価方法および基準】 小テスト・小論文 50% 定期試験 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト・小論文の回答例は次週に行います。	【成績評価方法および基準】 小テスト・小論文 70% レポート 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 小テスト・小論文の回答例は次週に行います。	yamagata@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	3年	分子生物学 II	東 慶直	■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 第1回 遺伝子クローニング 1 (DNA, RNA、複製) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 分子生物学の最も基本的な技術である遺伝子クローニングについて概論する。 第2回 遺伝子クローニング 2 (PCR) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子の解析技術として世界中の研究者や医療関係者が用いる技術であるPCRについて、詳細に説明する。 第3回 遺伝子クローニング 3 (制限酵素とマーカー) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子組換え、形質転換、プラスミド、ベクター用語の解説とその物質としての取り扱い方を講義する。 第4回 遺伝子クローニング 4 (DNA配列決定) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 生物学の実験や医学的な検査に広く使用されるDNA配列決定について、詳細に講義する。 第5回 遺伝子クローニングに関する総復習 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 「遺伝子のクローニング」について、その意味や方法を詳細に講義する。 第6回 遺伝子発現 1 (転写) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子発現の最初の重要なステップである転写に関して詳細な解説を行う。 第7回 遺伝子発現 2 (転写量) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子の発現量として、転写量を測定する方法を説明する。 第8回 遺伝子発現 3 (翻訳とタンパク質局在) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 翻訳とタンパク質局在について詳細に解説する。 第9回 遺伝子発現 4 (抗体とタンパク質検出) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 生物を構成するタンパク質の構造と機能、その検出方法について、詳細に講義する。 第10回 遺伝子発現の総復習 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子発現について、詳細に講義する。 第11回 応用分子生物 1 (遺伝学基礎) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 分子生物学と遺伝学は密接に関連する学問であり、本講義では遺伝学の基礎を理解できるように説明する。 第12回 応用分子生物 3 (遺伝病 1) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 人の疾患のうち、分子生物学の範疇にあつた遺伝病について解説する。 第13回 応用分子生物 3 (遺伝病 1) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 人の疾患のうち、分子生物学の範疇にあつた遺伝病について解説する。 第14回 応用分子生物 3 (遺伝病 2) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝病の理解を促すことを目的として、遺伝病に関する数学的解析方法を説明する。 第15回 応用分子生物 4 (まとめ) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 応用分子生物学の総復習を行う。	■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 第1回 コロナウイルス感染の分子生物学的理解 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 第2回 遺伝子クローニング 1 (DNA, RNA、複製) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 分子生物学の最も基本的な技術である遺伝子クローニングについて概論する。 第3回 遺伝子クローニング 2 (PCR) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子の解析技術として世界中の研究者や医療関係者が用いる技術であるPCRについて、詳細に説明する。 第4回 遺伝子クローニング 3 (制限酵素とマーカー) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子組換え、形質転換、プラスミド、ベクター用語の解説とその物質としての取り扱い方を講義する。 第5回 遺伝子クローニング 4 (DNA配列決定) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 生物学の実験や医学的な検査に広く使用されるDNA配列決定について、詳細に講義する。 第6回 遺伝子クローニングに関する総復習 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 「遺伝子のクローニング」について、その意味や方法を詳細に講義する。 第7回 遺伝子発現 1 (転写) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子発現の最初の重要なステップである転写に関して詳細な解説を行う。 第8回 遺伝子発現 2 (転写量) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子の発現量として、転写量を測定する方法を説明する。 第9回 遺伝子発現 3 (翻訳とタンパク質局在) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 翻訳とタンパク質局在について詳細に解説する。 第10回 遺伝子発現 4 (抗体とタンパク質検出) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 生物を構成するタンパク質の構造と機能、その検出方法について、詳細に講義する。 第11回 遺伝子発現の総復習 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝子発現について、詳細に講義する。 第12回 応用分子生物 1 (遺伝学基礎) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 分子生物学と遺伝学は密接に関連する学問であり、本講義では遺伝学の基礎を理解できるように説明する。 第13回 応用分子生物 2 (遺伝病 1) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 人の疾患のうち、分子生物学の範疇にあつた遺伝病について解説する。 第14回 応用分子生物 3 (遺伝病 2) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 遺伝病の理解を促すことを目的として、遺伝病に関する数学的解析方法を説明する。 第15回 応用分子生物 4 (まとめ) 予習内容: 授業ファイルを入力し授業内容を把握する。 予習時間: 60分 復習内容: 授業内容を表形式への整理と専門用語の意味や定義をまとめる。 復習時間: 60分 応用分子生物学の総復習を行う。	azuma@waka.kindai.ac.jp

専門科目 (食品安全工学科)	3年	機能性食品開発	尾崎嘉彦	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 演習 (少人数の班単位で25分間のプレゼンテーション、15分間の質疑を行う) 20% レポート (1回目 A4レポート用紙1枚、2回目A4レポート用紙4枚) 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 1回目のレポートは個別にコメントし返却します。 演習はゼミ形式でプレゼンテーションを行いますので、プレゼンテーションの内容について、ディスカッションすると共に逐次補足の解説を加えます。 2回目のレポートはプレゼンテーションの補足であるため、必要場合は班単位に個別に連絡し、対応を求める場合があります。 定期試験終了後、試験の要点の解説をユニバーサルレポートに掲載します。	【成績評価方法および基準】 演習 (少人数の班単位で20分間のプレゼンテーション、20分間の質疑を行う) 30% レポート (1回目 A4レポート用紙1枚、2回目A4レポート用紙4枚) 40% 小テスト (第5回、第9回の講義後にWEB上で実施する) 30%	ozaki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (食品安全工学科)	2年	食品化学実験	武部聡, 岸田邦博, 東慶直, 尾崎嘉彦, 尼子克己	授業計画の内容 第1回 ガイダンス: 実験を安全に行うために 第2回 pHメータを用いた酸塩基滴定曲線の作成 第3回 標準溶液の作製と中和滴定 (酸-塩基滴定) 第4回 レポートの書き方 第5回 水の硬度測定 (キレート滴定) 第6回 分光光度計を用いた吸収曲線の作成 (Lambert-Beerの法則の理解1) 第7回 検量線の作成と物質の定量 (Lambert-Beerの法則の理解2) 第8回 飲み物に含まれる糖の定量 第9回 タンパク質の人工消化試験 (酵素を用いた反応の評価) 第10回 ラット小腸マルターゼ活性の時間依存性の測定 第11回 ラット小腸マルターゼ活性の基質濃度依存性の測定 第12回 ラット小腸マルターゼ活性のKm値の測定 第13回 薄層クロマトグラフィー法による市販茶飲料成分の定性分析 第14回 比色定量法による市販茶飲料成分の定量分析 第15回 高速液体クロマトグラフィー法による市販茶飲料成分の定量分析	第1回 (5/11) (武部) ガイダンス、pHメータを用いた酸塩基滴定曲線の作成 第2回 (5/18) (尼子) 標準溶液の作製と中和滴定 (酸-塩基滴定)、レポートの書き方 第3回 (5/25) (尼子) 水の硬度測定 (キレート滴定) 第4回 (6/1) (東) 分光光度計を用いた吸収曲線の作成 (Lambert-Beerの法則の理解1) 第5回 (6/8) (東) 検量線の作成と物質の定量 (Lambert-Beerの法則の理解2) 第6回 (6/15) (東) 飲み物に含まれる糖の定量 第7回 (6/22) (尼子) タンパク質の人工消化試験 (酵素を用いた反応の評価) 第8回 (6/29) (岸田) ラット小腸マルターゼ活性の時間依存性の測定 第9回 (7/6) (岸田) ラット小腸マルターゼ活性の基質濃度依存性の測定 第10回 (7/13) (岸田) ラット小腸マルターゼ活性のKm値の測定 第11回 (7/20) (尾崎) 薄層クロマトグラフィー法による市販茶飲料成分の定性分析 第12回 (7/27) (尾崎) 比色定量法による市販茶飲料成分の定量分析 第13回 (8/3) (尾崎) 高速液体クロマトグラフィー法による市販茶飲料成分の定量分析 第14回 (8/24) (武部) 試薬の秤量および溶液の調製法 (動画または実習) 第15回 (8/30) (武部) pHメータ、分光光度計の使い方 (動画または実習)	takebe@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	3年	ゲノム機能科学	梶川昌孝	【成績評価方法および基準】 レポート (3回) 60% 定期試験 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポートの内容は適宜講義中に解説する。定期試験については、その要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに記載する。	【成績評価方法および基準】 レポート (3回、Googleフォーム利用) 60% 授業中の小テスト (6回、Googleフォーム利用) 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 レポートの内容は適宜講義中に解説します。小テストについてはテスト後の講義で解説します。	kajikawa@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	3年	遺伝子発現制御学	岡南政宏	【授業概要・方法等】 分子生物学という学問の中でも、遺伝子発現制御の分子メカニズムについて学ぶ講義である。これまでの分子生物学の講義で、DNAに書き込まれた遺伝情報をRNAに転写し、そのRNAの情報をタンパク質に翻訳する (遺伝子発現) メカニズムを学んできた。しかし、すべての遺伝子がすべての細胞で同じようにあるはいつも発現している訳ではない。発現させるべき遺伝子を時期や場所に応じて細胞が調節しているからこそ、細胞の活動は維持されている。本講義では、シグナル伝達、転写調節や翻訳調節の分子メカニズムを解説する。 本講義は半・反転授業を行う。すなわち、講義室での授業までに予習として受講者が主体的に学んできた上で授業に臨み、授業では簡単な説明、難解な箇所の説明、演習問題、動画によるイメージと知識の定着を図る、という授業スタイルとする。そのため、授業前に予習範囲が明確に提示されるので自分なりの講義ノートを作成し、授業時にはそのノートに補足説明を記入するだけで良いような準備をしておくこと。また、予習課題が課されるのでこれを授業開始までにUNIPAを通じて提出すること。 【成績評価方法および基準】 定期試験 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIPAに掲載します。	【授業概要・方法等】 分子生物学という学問の中でも、遺伝子発現制御の分子メカニズムについて学ぶ講義である。これまでの分子生物学の講義で、DNAに書き込まれた遺伝情報をRNAに転写し、そのRNAの情報をタンパク質に翻訳する (遺伝子発現) メカニズムを学んできた。しかし、すべての遺伝子がすべての細胞で同じようにあるはいつも発現している訳ではない。発現させるべき遺伝子を時期や場所に応じて細胞が調節しているからこそ、細胞の活動は維持されている。本講義では、シグナル伝達、転写調節や翻訳調節の分子メカニズムを解説する。 本講義は半・反転授業を行う。すなわち、講義室での授業までに予習として受講者が主体的に学んできた上で授業に臨み、授業では簡単な説明、難解な箇所の説明、演習問題によるイメージと知識の定着を図る、という授業スタイルとする。授業前に授業内容が明確に提示されるので、これをもとにテキストを読み、理解に努めること。授業開始時に予習テストを実施する。また、授業終了時に、前回授業内容に関する復習テストを実施する。 【成績評価方法および基準】 課題レポート 60% 予習テスト (Googleフォーム利用) 20% 復習テスト (Googleフォーム利用) 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題レポートはGoogle Classroomで要点と採点基準を解説します。 予習テストおよび復習テストは授業内に解説をします。	okanami@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科) / 学際領域 (遺伝子工学科、食品安全工学科)	3年	環境科学	阿野貴司	成績評価方法および基準 定期試験 80% 講義中に指定する課題についてのミニレポート (ルーブル評価) 20%	成績評価方法および基準 レポート課題 70% 講義中に指定する課題についてのミニレポート (ルーブル評価) 30%	tano@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	3年	生物プロセス工学科	鈴木高広	【成績評価方法および基準】 定期試験 70% 中間テスト 30% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 講義内容の確認と理解を深めるために中間テスト (講義ノート、配布資料参照) を実施し、翌回の授業で解説を行います。 定期試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。	【成績評価方法および基準】 毎回授業後の課題レポート・小テスト (google class利用) 100% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 提出されたレポートに対し、毎回Gmailで解説と回答を個別に行います。	tkuzuki@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科) / 学際領域 (遺伝子工学科、食品安全工学科)	3年	生物機能物質化学	梶山慎一郎	【成績評価方法および基準】 定期試験 60% 中間試験 40% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験終了後に模範答案を配布する。	【成績評価方法および基準】 授業中の小設問 (Googleフォーム等利用) 50% 授業ノートの提出 50% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 設問の要点を授業中に解説します。	kajiyama@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	2年	生物工学基礎生物学実験	秋田求, 阿野貴司, 坂本勝	【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第1回 植物の観察と栽培 (1) (坂本) 顕微鏡による植物の観察 第2回 植物の観察と栽培 (2) (坂本) 植物細胞の染色と観察 第3回 植物の観察と栽培 (3) (坂本) 植物切片の作成と観察 第4回 植物の観察と栽培 (4) (坂本) 水耕栽培による植物の栽培 第5回 植物の観察と栽培 (5) (坂本) 水耕栽培植物の比較・調査 第6回 植物組織・細胞培養 (1) 培地作成と無菌操作 (秋田) 各種植物ホルモンを含む培地を調整する。種子を表面殺菌し、寒天プレートに播種して材料の準備をする。 第7回 植物組織・細胞培養 (2) 無菌操作と組織の培養 (秋田) 前週に作成した無菌植物の茎を切り、各種ホルモンを含む培地に移植して培養を開始する。 第8回 植物の観察と栽培 (6) (坂本) レポート解説と顕微鏡観察の復習 第9回 植物組織・細胞培養 (3) プロトプラストの誘導 (秋田) プロトプラストを誘導する操作を経験しプロトプラスト誘導の原理を理解する。プロトプラストを計数し、誘導効率 (時間あたりプロトプラスト形成数) を求める。 第10回 植物組織・細胞培養 (4) 培養結果の観察 (秋田) 無菌培養した組織の状況を観察し、写真撮影し、かつ情報を記録し整理する。結果を考察してノートにまとめる。結果を発表する準備を行う。 第11回 微生物の取り扱い (1) (阿野) 微生物の単離 第12回 微生物の取り扱い (2) (阿野) 微生物の増殖様式 第13回 微生物の取り扱い (3) (阿野) 微生物の抗生物質耐性 第14回 植物組織・細胞培養 (5) 培養結果の発表 (秋田) 実験「レタス培養組織に対するホルモンの影響」で得られた結果について、パワーポイントを使ってまとめ発表する (グループ単位)。 第15回 微生物の取り扱い (4) (阿野) 【微生物】 レポート解説	【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】 第1回 植物の観察と栽培 (1) (坂本) 顕微鏡による植物の観察 第2回 植物の観察と栽培 (2) (坂本) 植物細胞の染色と植物切片の作成 第3回 植物の観察と栽培 (3) (坂本) 水耕栽培による植物の栽培 第4回 植物の観察と栽培 (4) (坂本) 水耕栽培植物の比較・調査 第5回 植物組織・細胞培養 (1) 培地作成と無菌操作 (秋田) 各種植物ホルモンを含む培地を調整する。種子を表面殺菌し、寒天プレートに播種して材料の準備をする。 第6回 植物組織・細胞培養 (2) 無菌操作と組織の培養 (秋田) 前週に作成した無菌植物の茎を切り、各種ホルモンを含む培地に移植して培養を開始する。 第7回 植物組織・細胞培養 (3) プロトプラストの誘導と培養結果の観察 (秋田) プロトプラストを誘導する操作を経験しプロトプラスト誘導の原理を理解する。プロトプラストを計数し、誘導効率 (時間あたりプロトプラスト形成数) を求める。無菌培養した組織の状況を観察し、写真撮影し、かつ情報を記録し整理する。結果を考察してノートにまとめる。結果を発表する準備を行う 第8回 植物の観察と栽培 (6) (坂本) レポート解説と顕微鏡観察の復習 第9回 微生物の取り扱い (1) (阿野) 微生物の単離 第10回 微生物の取り扱い (2) (阿野) 微生物の増殖様式 第11回 微生物の取り扱い (3) (阿野) 微生物の抗生物質耐性 第12回 微生物の取り扱い (4) (秋田・阿野) 【植物組織・細胞培養】実験「レタス培養組織に対するホルモンの影響」で得られた結果について、パワーポイントを使ってまとめ発表する (グループ単位)。 【微生物】 レポート解説	sakamoto@waka.kindai.ac.jp
専門科目 (生物工学科)	2年	分子生物学 I (令和元・2年度入学生用)	岡南政宏	【授業概要・方法等】 分子生物学とは、生命現象を遺伝子 (DNAやRNA) とタンパク質の機能およびそれらの機能調節という分子的な観点から論じる学問である。これは、遺伝学、生化学、細胞生物学、有機化学、物理学、生物物理学などの学問と深く関わり合っており、DNAの二重らせん構造が発見されて以来、急速な勢いで様々な生命現象が分子的に説明可能となってきたが、本講義では、遺伝子の正体、遺伝子の子孫への伝達方法 (複製・修復・組換え)、遺伝子の発現方法 (転写・翻訳) を分子レベルで論じる。また、分子生物学を基礎とする遺伝子組換え実験の基礎を論じる。 本講義は半・反転授業を行う。すなわち、講義室での授業までに予習として受講者が主体的に学んできた上で授業に臨み、授業では簡単な説明、難解な箇所の説明、演習問題、動画によるイメージと知識の定着を図る、という授業スタイルとする。そのため、授業前に予習範囲が明確に提示されるので自分なりの講義ノートを作成し、授業時にはそのノートに補足説明を記入するだけで良いような準備をしておくこと。また、予習課題が課されるのでこれを授業開始までに済ませておくこと。授業開始時に予習テストを実施する。 【成績評価方法および基準】 定期試験 90% 予習テスト 10% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 試験終了後に試験の要点と解説をUNIPAに掲載します。	【授業概要・方法等】 分子生物学とは、生命現象を遺伝子 (DNAやRNA) とタンパク質の機能およびそれらの機能調節という分子的な観点から論じる学問である。これは、遺伝学、生化学、細胞生物学、有機化学、物理学、生物物理学などの学問と深く関わり合っており、DNAの二重らせん構造が発見されて以来、急速な勢いで様々な生命現象が分子的に説明可能となってきたが、本講義では、遺伝子の正体、遺伝子の子孫への伝達方法 (複製・修復・組換え)、遺伝子の発現方法 (転写・翻訳) を分子レベルで論じる。また、分子生物学を基礎とする遺伝子組換え実験の基礎を論じる。 本講義は半・反転授業を行う。すなわち、講義室での授業までに予習として受講者が主体的に学んできた上で授業に臨み、授業では簡単な説明、難解な箇所の説明、演習問題によるイメージと知識の定着を図る、という授業スタイルとする。授業前に授業内容が明確に提示されるので、これをもとにテキストを読み、理解に努めること。授業開始時に予習テストを実施する。また、授業終了時に、前回授業内容に関する復習テストを実施する。 【成績評価方法および基準】 課題レポート 60% 予習テスト (Googleフォーム利用) 20% 復習テスト (Googleフォーム利用) 20% 【試験・課題に対するフィードバック方法】 課題レポートはGoogle Classroomで要点と採点基準を解説します。 予習テストおよび復習テストは授業内に解説をします。	okanami@waka.kindai.ac.jp

専門科目 (生物工学科)	2年	分子生物学Ⅱ (平成26~30年度入学生用)	岡南政宏	<p>【授業概要・方法等】</p> <p>分子生物学とは、生命現象を遺伝子 (DNAやRNA) とタンパク質の機能およびそれらの機能調節という分子的な観点から論じる学問である。これは、遺伝学、生化学、細胞生物学、有機化学、物理学、生物物理学などの学問と深く関わり合っており、DNAの二重らせん構造が発見されて以来、急速な勢いで様々な生命現象が分子的に説明可能となってきたが、本講義では、分子生物学Ⅰから続いて、遺伝子の発現方法、つまり、遺伝子の転写と翻訳について分子レベルで論じる。</p> <p>本講義は半・反転授業を行う。すなわち、講義室での授業までに予習として受講者が主体的に学んできた上で授業に臨み、授業では簡単な説明、難解な箇所の説明、演習問題、動画によるイメージと知識の定着を図る、という授業スタイルとする。そのために、授業前に予習範囲が明確に提示されるので自分なりの講義ノートを作成し、授業時にはそのノートに補足説明を記入するだけで良いような準備をしておくこと。また、予習課題が課されるのでこれを授業開始までにUNIPAを通じて提出すること。</p> <p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 90%</p> <p>予習課題 10%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>試験期間終了後に試験の要点と解説をUNIPAに掲載します。</p>	<p>【授業概要・方法等】</p> <p>分子生物学とは、生命現象を遺伝子 (DNAやRNA) とタンパク質の機能およびそれらの機能調節という分子的な観点から論じる学問である。これは、遺伝学、生化学、細胞生物学、有機化学、物理学、生物物理学などの学問と深く関わり合っており、DNAの二重らせん構造が発見されて以来、急速な勢いで様々な生命現象が分子的に説明可能となってきたが、本講義では、分子生物学Ⅰから続いて、遺伝子の発現方法、つまり、遺伝子の転写と翻訳について分子レベルで論じる。</p> <p>本講義は半・反転授業を行う。すなわち、講義室での授業までに予習として受講者が主体的に学んできた上で授業に臨み、授業では簡単な説明、難解な箇所の説明、演習問題によるイメージと知識の定着を図る、という授業スタイルとする。授業前に授業内容が明確に提示されるので、これをもとにテキストを読み、理解に努めること。授業開始時に予習テストを実施する。また、授業終了時に、前回授業内容に関する復習テストを実施する。</p> <p>【成績評価方法および基準】</p> <p>課題レポート 60%</p> <p>予習テスト (Googleフォーム利用) 20%</p> <p>復習テスト (Googleフォーム利用) 20%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>課題レポートはGoogle Classroomで要点と採点基準を解説します。</p> <p>予習テストおよび復習テストは授業内に解説をします。</p>	okanami@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	教育課程論	渡部容子	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>中間試験および定期試験 75%</p> <p>提出物 (未提出のまま定期試験は受験できない) 15%</p> <p>授業への積極的参加 10%</p> <p>定期試験と解題</p> <p>定期試験を実施する。試験範囲は、学習範囲全般である。試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>中間試験 30%</p> <p>小テスト 60%</p> <p>授業への積極的参加 10%</p> <p>中間試験・小テストと解題</p> <p>中間試験を実施する。試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。授業ごとの小テストは、その都度解題を行う。</p>	ywtbn@waka.kindai.ac.jp
教職科目	1年	教育原理	小田義隆	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 70%</p> <p>提出物 30%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>試験終了後に試験の要点を解説する。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>レポート提出 70%</p> <p>毎回の授業後提出物 (Googleフォーム利用) 30%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>レポート提出後、解説する。(Googleフォーム利用)</p>	oda44tk@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	教育行政学	小田義隆	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 80%</p> <p>提出物 20%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>試験終了後に試験の要点を解説する。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>レポート提出 80%</p> <p>毎回の授業後提出物 (Googleフォーム利用) 20%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>レポート提出後、解説する。(Googleフォーム利用)</p>	oda44tk@waka.kindai.ac.jp
教職科目	1年	教育心理学	村上凡子	<p>【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】</p> <p>(省略)</p> <p>【成績評価方法および基準】</p> <p>(省略)</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>(省略)</p>	<p>【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】</p> <p>定期試験に代わる記述式等の課題を時間中に課す。</p> <p>【成績評価方法および基準】</p> <p>第15回の課題 50%</p> <p>小テスト2回 20%</p> <p>毎回の復習課題 30%</p> <p>(すべてGoogleフォームを利用)</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>毎回の復習課題は一両日中に全体にフィードバックします。</p> <p>小テスト、第15回の課題の解答および講評もGoogleフォームに掲載します。</p>	b-murakami@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	教育相談	村上凡子	<p>【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】</p> <p>(省略)</p> <p>【成績評価方法および基準】</p> <p>(省略)</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>(省略)</p>	<p>【授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間】</p> <p>時間中に定期試験を実施する。</p> <p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 60% (レポート形式の記述式問題を含む)</p> <p>授業内小テスト 20% (Googleフォームを利用)</p> <p>予習・復習課題 20% (予習・復習方法の詳細は、第1回授業で提示、Googleフォームを利用)</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>毎回の予習課題は、順番交代制で発表の機会を設けます。復習課題は一両日中に各自にフィードバックします。全体では、授業でも口頭で伝えます。小テスト、提起試験の解答および講評もGoogleフォームに掲載します。</p>	b-murakami@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	教育方法と総合的な学習の時間の指導法	森本芳生	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 (期末レポート) 40%</p> <p>小テスト 20%</p> <p>レポート (中間レポート) 40%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</p> <p>小テスト 講義で説明・確認したことテストであるため、正答は各自授業ノートを見直してください。</p> <p>レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 (期末レポート) 40%</p> <p>ミニツペーパー 20%</p> <p>レポート (中間レポート) 40%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</p> <p>毎時間提出してもらったミニツペーパーを、4段階に分けて評価します。</p> <p>レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。</p>	y-morimoto@waka.kindai.ac.jp
教職科目	1年	教職論	小田義隆	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 80%</p> <p>提出物 20%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>試験終了後に、試験の要点と解説する。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>レポート提出 80%</p> <p>毎回授業後の提出物 20% (Googleフォーム利用)</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>レポート提出後、解説する。(Googleフォーム利用)</p>	oda44tk@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	生徒指導論	渡部容子	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 50%</p> <p>提出物 (未提出のまま定期試験は受験できない) 25%</p> <p>授業時および宿題のミニレポート 15%</p> <p>授業への積極的参加 10%</p> <p>定期試験と解題講義</p> <p>定期試験を実施する。試験範囲は、学習範囲全般である。試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>小テスト 50%</p> <p>レポート 40%</p> <p>授業への積極的参加 10%</p> <p>※定期試験および解題講義は無し</p>	ywtbn@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	道徳教育論	渡部容子	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 50%</p> <p>提出物 (未提出のまま定期試験は受験できない) 40%</p> <p>授業への積極的参加 10%</p> <p>定期試験と解題講義</p> <p>定期試験を実施する。試験範囲は、学習範囲全般である。試験を終え答案回収後、パワーポイントを用いて試験の解題を行う。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>小テスト 50%</p> <p>課題の提出 40%</p> <p>授業への積極的参加 10%</p> <p>※定期試験および解題講義は無し</p>	ywtbn@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	特別活動論	森本芳生	<p>■成績評価方法および基準</p> <p>定期試験 (期末レポート) 40%</p> <p>小テスト 20%</p> <p>レポート (中間レポート) 40%</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法</p> <p>定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</p> <p>小テスト 講義で説明・確認したことテストであるため、正答は各自授業ノートを見直してください。</p> <p>レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。</p>	<p>■成績評価方法および基準</p> <p>定期試験 (期末レポート) 40%</p> <p>ミニツペーパー 20%</p> <p>レポート (中間レポート) 40%</p> <p>■試験・課題に対するフィードバック方法</p> <p>定期試験 要点・解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。</p> <p>毎時間提出してもらったミニツペーパーを、4段階に分けて評価します。</p> <p>レポート 中間レポート提出後、優れたレポート・改善の余地のあるレポートの具体を授業で解説します。</p>	y-morimoto@waka.kindai.ac.jp
教職科目	2年	理科教育法Ⅰ、理科教育法特講Ⅰ	伊丹芳徳	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>定期試験 50%</p> <p>演習レポート 50%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>試験終了後に模範解答 (印刷物) を配布します。</p>	<p>【成績評価方法および基準】</p> <p>授業での課題、小テスト (GoogleClassroom利用) 並びに模擬授業 (zoom利用) 50%</p> <p>授業後の課題レポート (GoogleClassroom利用) 50%</p> <p>【試験・課題に対するフィードバック方法】</p> <p>課題、小テスト、模擬授業並びに課題レポート後、解答・解説、講評を行います。</p>	itami-y@waka.kindai.ac.jp